

特 227
PPJ

真言宗
山階派
宗制宗規



始



特27
993

言宗四一號



眞言宗山階派管長

昭利十一年十一月七日付申請宗制宗規中改正並宗規制定ノ件認



文部大臣 平生鈞三郎印

眞言宗山階派宗制宗規目次

宗 制

第一章	總 則	一
第二章	管 長	二
第三章	宗 務	四
第四章	本末協議會	四
第五章	教 育	六
第六章	布教及教會	七
第七章	僧侶分限並教師	八
第八章	法 衣	一〇
第九章	會 計	一一
第十章	賞 罰	一三

第十一章	寺 院	一三
第十二章	住 職	一六
第十三章	檀徒並信徒	一九
第十四章	寺有財產	一九

補 則

宗規第一號	宗 務 條 例	一三
同 第二號	寺院住職任免條例	一六
同 第三號	本末協議會規則	二六
同 第四號	本末協議會議員選定規則	三〇
同 第五號	教師補任條例	三七
同 第六號	教 育 條 例	四〇
同 第七號	管長選定規則	四二
同 第八號	寺有財產保管條例	四三

同 第九號	會計條例	四七
同 第十號	褒賞條例	四九
同 第十一號	懲誡條例	五三
同 第十二號	檀信徒取扱規則	五九
同 第十三號	宗費賦課徵收諸禮錄徵收法	六一
同 第十四號	寺院等級査定昇降規則	六九
同 第十五號	寺格昇降査定條例	八一
同 第十六號	寺院末寺總代法類選定規則	八二
同 第十七號	色衣被着條例	八四
同 第十八號	托鉢免許規則	八五
同 第十九號	宗務支所規則	八八
同 第二十號	宗務支所役員代議員選舉規則	八九
同 第二十一號	大本山勸修寺々法	九〇

眞言宗山階派宗制

第一章 總 則

- 第一條** 本派ハ眞言宗山階派ト稱ス
- 第二條** 本派ハ弘法大師立教ノ宗體ニ據リ小野ノ正統嚴覺長史並勸修寺流ノ元祖寛信法務ノ御法脈ヲ相承シ眞言秘密ノ教義ヲ宣傳スルヲ以テ要旨トス
- 第三條** 本派ハ左ノ經論ヲ以テ所依トス
- 一、大日經、金剛頂經、蘇悉地經、瑜祇經、要略念誦經
 - 一、釋摩訶衍論、菩提心論
 - 一、其他三學錄所載ノ經律論及宗祖御製作ノ章疏
- 第四條** 本派僧侶ノ法燈相續ハ左ノ順序ニ依ル
- 一、得度
 - 一、四度加行
 - 一、授戒

一、傳法灌頂
一、法流印可

第二章 管長

- 第五條 本派ハ管長之ヲ統理ス
- 第六條 管長ハ別ニ定ムル宗規ニ依リ之ヲ選定シ主務大臣ノ認可ヲ得テ就職ス
- 第七條 管長ハ本末協議會ヲ召集シ其ノ開會、閉會、停會、及解散ヲ命ス
- 第八條 管長ハ本末協議會ノ協賛ヲ經テ宗制宗規ノ改正變更又ハ制定ヲ爲シ主務大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ施行ス
- 第九條 管長ハ宗制宗規ヲ施行スル爲必要ナル教令及訓示ヲ發ス、但シ教令及訓示ヲ以テ宗制宗規ヲ變更スルコトヲ得ス
- 第十條 管長ハ派内ノ教育及布教ヲ監督ス
- 第十一條 管長ハ所屬僧侶及檀信徒ニ對シ宗意安心ノ正否ヲ裁定ス
- 第十二條 管長ハ寺院ノ寺格並等級ヲ査定昇降ス
- 第十三條 管長ハ寺院ノ財産ヲ監督ス

二

- 第十四條 管長ハ住職ヲ任免ス
- 第十五條 管長ハ教師ヲ進退ス
- 第十六條 管長ハ末徒ニ度牒ヲ授與ス
- 第十七條 管長ハ教師ニ色衣被着ヲ允許ス
- 第十八條 管長ハ托鉢免許證ヲ付與ス
- 第十九條 管長ハ檀信徒ヲ統管ス
- 第二十條 管長ハ僧侶ヲ賞罰シ檀信徒ニ褒賞ヲ行フ
- 第二十一條 管長ハ懲誡ニ處シタル僧侶ニ對シ特免減誡及僧侶分限復得ヲ命スルコトヲ得
- 第二十二條 管長ハ本末協議會ノ協賛ヲ經テ派内寺院ニ對シ宗費ヲ賦課徵集スルコトヲ得
- 第二十三條 管長缺員トナリタル時ハ百日以内ニ後任管長ヲ選定シ認可ヲ受クヘキモノトス
- 第二十四條 管長缺員中ハ事務取扱ヲ置キ主務大臣ノ認可ヲ得テ管長事務ヲ處理セシム但シ事務取扱ハ本派宗務長ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

三

第三章 宗務

四

第二十五條 本派ノ宗務所ヲ大本山勸修寺ニ置キ管長ノ宗務ヲ總攬スル所トス

第二十六條 各地方ニ必要ニ依リ宗務支所ヲ置キ地方ニ於ケル本派ノ宗務ヲ取扱ハシム

第二十七條 宗務傳達所ヲ東京ニ置キ諸官廳ニ對スル宗務ヲ傳達セシム

第二十八條 宗務所宗務支所並宗務傳達所ノ職制及職員選定法ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 本末協議會

第二十九條 本派ノ本末協議會ハ管長ヨリ特任セラレタル議員二名、末寺ヨリ選出セラレタル議員五名ヲ以テ組織ス

第三十條 協議會ハ定期會ト臨時會ノ二トス定期會ハ四年目毎ニ開キ臨時會ハ管長ニ於テ必要ト認メタル時開クモノトス

第三十一條 定期會ハ會期ヲ三日間トシ臨時會ハ其ノ都度管長之ヲ定ム、但シ管長ニ於テ必要ト認メタル時ハ會期ヲ延長スル事ヲ得

第三十二條 協議會ノ議案ハ管長之ヲ發ス、但シ議員三名以上ノ同意ヲ得テ自ラ議案ヲ發スルコトヲ得

第三十三條 協議會ハ管長ニ建議スルコトヲ得、但シ其ノ採納ヲ得サルモノハ同會期中再ヒ建議スルコトヲ得ス

第三十四條 協議會ハ本派寺院僧侶ノ請願ヲ受クルコトヲ得

第三十五條 協議會ハ總員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス
議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナル時ハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十六條 否決シタル議案ハ同會期中ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ス

第三十七條 協議會解散ヲ命セラレタルトキハ教令ヲ以テ新ニ議員ヲ選出シ解散ノ日ヨリ五ヶ月以内ニ之ヲ召集スヘシ

第三十八條 協議會ノ會議ハ公開ス管長ノ要求又ハ會ノ決議ニ依リ秘密會ト爲スコトヲ得

第三十九條 協議會ノ決議ハ管長ノ認可ヲ經ルニアラサレハ執行ノ効力ヲ有セサルモノトス

第四十條 管長及管長ノ任命セル本山委員ハ何時タリトモ協議會ニ出席シ且發言スル

五

コトヲ得

第四十一條 協議會ハ宗制宗規ニ明記セル事項及管長ニ於テ必要ト認メラレタル事項ヲ議決スルモノトス

第四十二條 前諸條ノ外議事々項並議員選定規則其他必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第五章 教 育

第四十三條 本派僧侶ハ管長ノ教示又ハ師僧及學識經驗アル者ニ就キ必要ナル修行學習ヲ爲スヲ要ス

第四十四條 本派ハ眞言宗東寺派、同醍醐派、同泉涌寺派、同善通寺派ト共同シテ京都専門學校、東寺中學ヲ設置シ教師タルニ必要ナル宗學及學科ヲ修行セシムル所トス
前項教育事業經營ニ要スル費用ハ左記比率ニ依リ各派ニ於テ之ヲ負擔ス

東寺派 百分ノ五拾

醍醐派 百分ノ參拾

山階派 百分ノ九

善通寺派 百分ノ六

泉涌寺派 百分ノ五

第四十五條 京都専門學校及東寺中學ニハ學長各一名ヲ置キ各其ノ學費ヲ主宰セシム

第四十六條 事相講傳所ヲ京都ニ置キ事相ノ蘊奧ヲ授クル所トス

第四十七條 前各條ノ外教育ニ關スル必要ノ規定ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 布教及教會

第四十八條 本派ノ布教ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ施行ス

一、管長ノ親教

一、布教師ノ巡教

第四十九條 管長ノ親教ハ管長ニ於テ必要ト認メタル時並ニ所屬寺院又ハ教會所及檀信徒ノ特請アル場合ニ之ヲ行フ

第五十條 布教師ノ巡教ハ管長ニ於テ必要ト認メタル時並ニ所屬寺院又ハ教會所及檀信徒ノ特請アル場合ニ之ヲ行フ、但シ巡教ノ布教師ハ眞言宗各派ノ布教師ニ於テ管長之ヲ任用ス

第五十一條 本派教會ヲ山階派教會ト稱シ本部ヲ勸修寺ニ置キ支部ヲ各地ニ置ク

本部ハ各支部ヲ統轄シ進捗ヲ圖リ一般會員ヲ教導スル所トス、支部ハ本部ニ隸屬シテ其ノ會員ヲ教導スル所トス

第五十二條 山階派教會ハ宗祖大師ノ教風ヲ信受スル僧侶及檀信徒ヲ以テ組織スルモノトス

第五十三條 教會條例ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定メ布教ニ必要ナル規則ハ管長別ニ之ヲ定ム

第七章 僧侶分限並教師

第五十四條 本派ニ於テ僧侶分限ヲ取得スルハ度牒授與ニ依ル度牒ヲ授與スヘキモノハ義務教育ヲ終了シ更ニ通常法式ニ用ヒル經典ヲ學得セシモノニ限ル

第五十五條 管長ハ四度加行成滿傳法灌頂受了ノ者ヲ教師ニ補任ス其ノ教師ノ名稱等級ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一級 大僧正 二級 權大僧正 三級 中僧正 四級 權中僧正
- 五級 少僧正 六級 權少僧正 七級 大僧都 八級 權大僧都

- 九級 中僧都 十級 權中僧都 十一級 少僧都 十二級 權少僧都
- 十三級 律師 十四級 權律師 十五級 教師試補

第五十六條 管長ハ大僧正タルヘキモノトス

第五十七條 左項ノ一ニ該當スル者ハ教師ニ新補又ハ昇補スルコトヲ得ス

- 一、白痴瘋癲及教師ノ職ニ堪エサル者
- 一、懲誠處分ヲ受ケ其ノ期間中ニ在ル者及降級以上ノ處分ヲ受ケ其ノ特免ヲ得サル者
- 一、刑事ノ被告ト爲リ未決中ノ者及禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 一、破産ノ宣告ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第五十八條 高野派管長ノ定ムル金剛峰寺座主ノ宗祖廟參籠證ヲ有スルモノニ非サレハ中僧都以上ニ補スルコトヲ得ス

第五十九條 本派所屬ノ教師ハ管長ノ承認ヲ得ルニ非サレハ他宗他派ノ教師タルコトヲ得ス

第六十條 眞言宗各派中他派ニ於テ度牒授與ヲ得僧侶分限ヲ取得シタル者ハ本派ニ於テモ其ノ分限ヲ認メ左項ノ場合ニ於テ本派僧籍ニ登錄ス

- 一、眞言宗各派中他派所屬僧侶ニシテ本派所屬寺院ニ住職シタルトキ

一、他派所屬僧侶ニシテ本派所屬ニ其ノ師僧替ヲ爲シタルトキ

第六十一條 眞言宗各派中他派ニ於テ補任セラレタル教師ハ本派ニ於テモ其ノ資格ヲ認ムルモノトス

第六十二條 本派教師ハ眞言宗各派中本派以外ノ宗派ニ屬スル教育、布教、宗務其ノ他ノ事業ニ從事シ又ハ本派所屬以外ノ宗派ニ屬スル教會講社ヲ設立スルコトヲ得

第六十三條 僧侶分限並教師補任ニ關スル必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第八章 法衣

第六十四條 本派僧侶ノ被着スベキ法衣ノ種類ハ左ノ如シ

袈裟

大衣、七條、五條、衲袈裟、甲袈裟

正衣

袍裳、鈍色、素絹、直綴、襲衣、空衣、編衫、略衣

副衣

帽子、表袴、差貫

第六十五條 前條正衣ノ染色ヲ分ケテ左ノ六種トシ管長之ヲ允可ス

- 一、淡紅色
- 二、淺黃色
- 三、黃色
- 四、萌黃色
- 五、紫色
- 六、緋色

第六十六條 色衣被着ヲ允可スルニハ教師等級ニ應シ左表ノ區別ニ從フコトヲ要ス

教師等級	大僧正	權少僧正	權中僧都	權少都僧	權律師	教師試補
色衣	緋色	紫色	萌黃色	黃色	淺黃色	淡紅色

第六十七條 教師ニ非サル僧侶ノ法衣ハ總テ黑色トス

第六十八條 色衣被着ニ關シ必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第九章 會計

第六十九條 本派ノ宗費ハ本派寺院ニ賦課シ之ヲ徵集ス、但シ本末協議會ノ協賛ヲ經ヘキモノトス

第七十條 歳入歳出ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條 宗費ノ賦課徵集法ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 本末協議會ニ於テ豫算ヲ議決セス又ハ議決スルニ至ラサリシ場合ハ從前施

行ノ豫算ヲ準用ス

第七十三條 歳入歳出ノ決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ編成シ本末協議會ニ報告シ其ノ承認ヲ經ヘキモノトス

第七十四條 會計年度ハ毎年四月一日ヨリ起リ翌年三月三十一日ニ終ル

第七十五條 會計ニ關シ必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第十章 賞 罰

第七十六條 本派僧侶ノ褒賞ハ左ノ一種乃至四種トシ檀信徒ノ褒賞ハ左ノ三種及四種トス

- 一種 特 遇 特遇狀ヲ授與ス、但シ特遇狀ヲ得タルモノハ特ニ僧階一級ヲ昇補スルコトヲ得
- 二種 法衣授與 袈裟若クハ適宜ノ法衣ヲ授與ス
- 三種 物品授與 適宜ノ物品ヲ授與ス
- 四種 褒 詞 賞狀ヲ授與

第七十七條 本派僧侶ノ懲誡ヲ分チテ左ノ六種トス

- 一種 譴 責 呵責ヲ加ヘ一週間以内ノ期限ヲ定メ謹慎セシム
- 二種 懺 悔 七日以上三百日以下ノ期限ヲ定メ宗祖ノ廟前又ハ管長ノ指定シタル靈刹ニ於テ清行セシム
- 三種 降 級 教師等級ヲ降下ス、但シ十五級教師ニ限リ教師降下ニ代フルニ期限ヲ定メ教師分限ヲ停止ス
- 四種 住職罷免 住職(正職兼務住職ヲ通シ)ヲ罷免シ教師一級ヲ降下ス、但シ十五級教師ニ限リ教師降下ニ代フルニ期限ヲ定メ教師分限ヲ停止ス
- 五種 教師黜免 教師資格ヲ褫奪ス
- 六種 宗派擯斥 僧籍ヲ削除ス

第七十八條 管長ハ懲誡處分ヲ受ケタル僧侶ニ對シ特免減誡及僧侶ノ分限復得ヲ命スルコトヲ得

第七十九條 褒賞並懲誡其ノ他特免減誡等ニ關シ必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第十一章 寺 院

第八十條 本派寺院ノ寺格ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一、大本山

第八十四條 大本山以下末寺ヲ有スルモノハ各自其ノ末寺ヲ監護スヘキモノトス

第八十五條 大本山以下末寺ヲ有スルモノハ末寺住職ニ對シ大本山所傳ノ法流ヲ稟承セ

シムルモノトス

第八十六條 大本山以下末寺ヲ有スルモノハ各自其ノ末寺ノ諸願ニ對シ法令其他ニ規定

スル所ニ從ヒ副仲又ハ連署ヲ爲スモノトス

第八十七條 寺院ハ別ニ定ムル規定ニ依リ宗費ヲ負擔スヘキモノトス

第八十八條 寺院ハ管長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ他宗他派ニ轉換ヲ爲スコトヲ得ス

第九十條 本寺末寺ノ關係其他寺院相互ノ關係ハ宗制宗規及真言宗各派ノ宗制宗規ニ

牴觸セサル限り從來ノ慣例ニ從ハシム

第九十一條 寺格及等級ノ査定昇降其ノ他寺院ニ關スル必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之

ヲ定ム

第十二章 住 職

第九十二條 寺院住職ノ任免ハ管長之ヲ行フ

第九十三條 大本山勸修寺住職ハ山階派管長ヲ以テ之ニ充ツ

第九十四條 寺院ハ必ス専務住職ヲ置クヘキモノトス

事務多端ノ寺院ニハ副住職ヲ置クコトヲ得

十三等以下ノ寺院ニシテ専務住職ヲ置キ難キ事故アルトキハ兼務住職ヲ置クコトヲ得

但シ兼務ハ十三等ヨリ十七等迄ハ一ヶ寺十八等ヨリ二十等迄ハ二ヶ寺以内ニ限ル

真言宗各派總大本山住職ハ等級ノ如何ニ拘ラス一ヶ寺ヲ限り兼務住職タルコトヲ得

第九十五條 十三等ヨリ十七等マテノ寺院ハ滿三ヶ年以内兼務住職ヲ置クコトヲ得、但

シ三ヶ年ヲ經ルモ特殊ノ事由ニ依リ専務住職ヲ置キ難キ場合ハ繼續兼務ノ手續ヲ爲ス

ヲ要ス

第九十六條 兼務住職ハ其ノ専務住職移動シタルトキ繼續兼務ノ手續ヲ爲サ、レハ其ノ

資格消滅スルモノトス

第九十七條 管長ハ住職欠員ノ際寺院整理上必要ト認メタルトキハ第九十四條、第九十

五條ニ拘ラス一ヶ年以内ノ期限ヲ定メ臨時兼務住職ヲ特任スルコトヲ得

第九十八條 副住職ハ任命當時ノ住職在任中ニ限ルモノトシ法要勤務ノ外住職ノ職務ヲ

執行スルコトヲ得ス

第九十九條 住職及兼務住職タルコトヲ得ヘキ者ハ左ニ掲クル標準ニ從ヒ等級ニ相當ス

ル教師ニ限ル副住職ハ相當教師ヨリ一等乃至三等下級ノ教師ヲ以テ之ニ任スルコトヲ得

等級	特等	同	同	同	同	同	同
教師	一、二、三等	四、五等	六等	七等	八等	九等	十等
師級	權少僧正	權大僧都	權中僧都	權少僧都	權律師	教師	教師
以	上	上	上	上	上	上	上
補							

等級ノ昇降等若クハ降級處分ノ結果資格ニ影響アルモ之カ爲メニ住職ハ失職セサルモノトス

第百條 住職ヲ定ムルハ總テ其ノ寺院關係者ノ薦舉又ハ管長ノ特任ニ依ルモノトス
管長特任ノ住職ハ關係者ニ於テ拒否スルコトヲ得ス

第百一條 寺院ノ住職ハ寺院ヲ代表シ其ノ寺院ノ事務ヲ擔任ス

第百二條 寺院住職ハ宗制宗規ニ基ク處分ニ依ルノ外其職ヲ免セラル、コトナシ

第百三條 本派所屬ノ教師ハ管長ノ承認ヲ經テ眞言宗各派内ノ他派寺院ノ住職副住職又ハ兼務住職タルコトヲ得、但シ二派以上ニ涉リ十七等以上ノ寺院ヲ兼務スルコトヲ得ス

第百四條 眞言宗各派内ノ他派所屬ノ教師ハ本派所屬寺院ノ住職副住職又ハ兼務住職

タルコトヲ得

本派管長ハ前項ニ係ル住職任命以前ニ當該教師所屬派管長ニ支梧ノ有無ヲ照會スルモノトス

第百五條 住職任免ニ關スル必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第十三章 檀徒並信徒

第百六條 本派寺院ノ檀信徒ノ族籍姓名ハ各自其ノ寺院ニ備フル檀徒名簿信徒名簿ニ登錄スルモノトス

第百七條 檀徒ハ本派ノ教旨ヲ信奉シ其ノ寺院ニ葬祭追福ヲ依託シ且其ノ寺院ノ永續維持ヲ助クヘキモノトス

第百八條 信徒ハ本派ノ教旨ヲ信奉シ其ノ寺院ノ永續維持ヲ助クヘキモノトス

第百九條 檀信徒ハ凡テ管長ノ教誡ニ隨順スヘキモノトス

第百十條 檀信徒ノ離加方法其ノ他必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第十四章 寺有財產

第百十一條 寺院所有ノ財産ハ住職之ヲ保管ス

第百十二條 寺院所有ノ財産ハ三寶護持ノ目的ニ反シ之ヲ使用又ハ處分スヘカラス

第百十三條 寺院所有財産管理ニ關スル必要ノ規則ハ別ニ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

補 則

第百十四條 本宗制宗規ニ牴觸スル從來ノ規則ハ無効トス

第百十五條 本宗制施行ノ際從前ヨリ寺院住職兼務住職及副住職タル者ハ引續キ其ノ職ニ在ルコトヲ得

第百十六條 將來本宗制ノ改正變更ヲ要スルトキハ管長ノ發議ニ據リ本末協議會ノ同意ヲ得政府ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルモノトス

第百十七條 管長ハ本宗制ノ施行ニ關シ他宗派ニ關係ノ事項ハ其ノ關係管長ト協議ノ上相當ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第百十八條 政府ノ法令若クハ處分ニ基キ處置スヘキ事項ニシテ本末協議ノ議決ヲ經ル邊ナキ時又ハ該協議會ニ於テ議決セス又ハ之ヲ否決シタルトキハ管長ハ其議決ニ係ハラス之ヲ處分スルコトヲ得

第百十九條 本宗制宗規ニ依リ本末協議會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ緊急施行ノ必要アルモノニ限リ管長ニ於テ便宜之ヲ制定施行スルコトヲ得、前項ニ依リ制定ニ係ルモノハ次期本末協議會ノ承認ヲ經ルヲ要ス承認ヲ得サル時ハ將來ニ向テ効力ヲ失フコトヲ告示スヘシ

第百二十條 本宗制ノ施行期日ハ管長之ヲ定ム

第百廿一條 宗制宗規ニ依リ行フ選舉ニハ兼務住職ハ選舉權被選舉權ヲ有セス

宗規第一號

宗務條例

第一章 總則

第一條 本條例ハ宗制第三章第二十八條ニ依リ之ヲ定ム

第二章 宗務所

第二條 本派宗務所ニ宗務長一名、執行一名、録事若干名、雇員若干名ヲ置ク、宗務長ハ管長ヲ輔佐シ宗務ヲ處理シ其ノ責ニ任ス執行ハ管長及宗務長ノ指揮ヲ受ケ宗務ニ從事シ其ノ責ニ任ス

録事以下ハ上職員ノ指揮ヲ受ケ宗務ニ従事ス
管長ハ宗務所内ニ顧問會ヲ設ケ必要ノ事項ヲ諮問スルコトヲ得、但シ顧問會ニ必要ナル規則ハ別ニ管長之ヲ定ム

第三條 宗務長ハ本派寺院住職並兼務住職中權少僧正以上執行ハ權中僧都以上ノ者ト

ス、但シ本派内ニ適任者ナキ時ハ眞言宗各派中ヨリ選定ス

第四條 宗務長ハ管長本末協議會ニ諮詢ノ上之ヲ特任シ執行及録事ハ宗務長ノ推薦ニ依リ管長之ヲ任命シ雇員ハ宗務長之ヲ任用ス

第五條 宗務長及執行ノ任期ハ滿五ヶ年トシ再任スルコトヲ得、但シ中途辭任スル者アル時モ後任者ノ任期ハ滿五ヶ年トス

第六條 宗務所ニ庶務課、教務課、財務課ノ三課ヲ置キ左ノ如ク事務ヲ分掌セシム
庶務課

一、官廳又ハ他宗派ニ關スル件

一、本末協議會ニ關スル件

一、選舉ニ關スル件

一、寺院並檀信徒ニ關スル件

一、住職教師ノ任免其ノ他僧侶ニ關スル件

一、他課ノ主掌ニ屬セサル件

教務課

一、教育ニ關スル件

- 一、布教ニ關スル件
- 一、教會講社ニ關スル件

財務課

- 一、收入支出ニ關スル件
- 一、諸禮録ニ關スル件
- 一、寺院財産ニ關スル件

第三章 宗務支所

第七條 各地方ノ宗務支所ハ其管内ニ於ケル本派及眞言宗各派ニ亘ル宗務ヲ取扱ハシム

前項ノ宗務ニ就テハ本派管長ノ指揮監督ヲ受ケ本派及眞言各派ノ規則ニ依ルモノトス

第八條 宗務支所ニ支所長一名 管理一名副管理若干名、代議員若干名ヲ置ク、支所長、管理、副管理ハ別ニ定ムル選舉規則ニ依リ其ノ管内ニ於ケル住職中ヨリ選舉セシメ管長之ヲ任用ス

第九條 支所長ハ管長ノ指揮監督ヲ受ケ支所ノ宗務ヲ管掌ス

支所長欠員若クハ事故アル時ハ管理其ノ事務ヲ代理ス管理副管理ハ支所長ノ指揮ニ依リ宗務ニ従事ス

代議員ハ支所規約ノ制定變更及必要ナル經費其ノ地ノ事項ヲ議定ス

第四章 宗務傳達所

第十條 東京宗務傳達所ニ主務一名ヲ置キ管長ノ指揮命令ニ從ヒ事務ヲ擔當セシム主務ハ管長之ヲ任命又ハ囑託ス

第十一條 本條例施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

附 則

本改正施行ノ際現ニ宗務長及參事タル者ハ本改正ニ依ル宗務長及執行ト看做シ其ノ任期ハ其ノ就職ノ日ヨリ起算ス

宗規第二號

寺院住職任免條例

二六

第一條 本條例ハ宗制第十二章第一百五條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 大本山以外ノ寺院住職及副住職ノ任命ハ左項ノ區分ニ從ヒ關係人ノ協議ヲ以テ其ノ寺院住職及副住職タルコトヲ得ヘキ資格アル教師中ニ就キ候補者ヲ選ヒ關係者連署ヲ以テ其ノ任命ヲ管長ニ申請スヘキモノトス、但シ住職欠員ノ場合ニ於テハ其ノ欠員ノ日ヨリ三ヶ月以内ニ本文ノ申請ヲ爲スヘシ其ノ期間内ニ申請ヲ爲シ能ハサル事情アルトキハ延期ヲ申請シ管長ノ許可ヲ受クヘシ

一、末寺ヲ有スル寺院ニ在テハ現住職アルトキハ現住職並末寺總代法類總代及其ノ寺院ノ檀徒總代若クハ信徒總代ヲ以テ關係人トス

一、末寺ヲ有セサル寺院ニ在リテハ現住職アルトキハ現住職並法類總代及其ノ寺院ノ檀徒總代若クハ信徒總代ヲ以テ關係人トス

第三條 準大本山、別格本山以下ノ末寺住職任命ノ申請ニハ其ノ本寺住職ノ副伸ヲ得ルヲ要ス

本寺住職ニ於テ關係人選定ノ候補者ニ對シ不適任ト認メ副伸ヲ與ヘサルトキハ其ノ事由ヲ記シ副伸請求ヲ受ケタル日ヨリ廿五日以内ニ關係人ニ通知スヘシ此ノ場合ニ於テ關係人ハ本寺住職ノ通牒ヲ添ヘ住職任命申請書ヲ提出スルコトヲ得

第四條 住職選定ニ際シ關係者ノ協議調ハサルトキハ住職欠員ノ日ヨリ三ヶ月以内ニ關係人ヨリ其ノ事由ヲ具シ管長ノ裁定ヲ請フヘキモノトス

第五條 左項ノ一ニ該當スルモノハ第二條第三條ノ規定ニ拘ラス管長ハ住職ヲ特任スルコトヲ得

一、第二條ニ規定セル期間内又ハ同條ニ依リ許可セラレタル期間内ニ住職ノ候補者ヲ選定シテ任命ヲ請ハサル時

一、管長ノ裁定ヲ受ケタル日ヨリ一ヶ月以内ニ其ノ裁定ニ從ヒ任命ヲ請ハサル時

一、成規ノ手續ヲ運ヒ難キ事故アルトキ

第六條 管長ハ專務住職任命ニ至ル間必要ト認ムルトキハ期限ヲ定メ臨時兼務住職ヲ任命スルコトヲ得

第七條 兼務住職在任中ト雖モ管長ニ於テ必要ト認メタルトキハ三ヶ月以上ニ於テ期限ヲ定メ專務住職選定ノ手續ヲ命スルコトヲ得

二七

前項ノ場合ニ於テ關係人其ノ期限内ニ專務住職ノ任命又ハ裁定ヲ申請セサルトキハ管長ハ懲戒ニ依ラスシテ兼務住職ヲ解任シ專務住職ヲ特任スルコトヲ得

第八條 前諸條ノ外住職任免ニ關シ必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第三號

本末協議會規則

第一條 本規則ハ宗制第四章第四十二條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 本會ノ召集ハ管長ニ於テ期日ヲ定メ三十日以前ニ告達スルモノトス、但緊急ヲ要スル時ハ此ノ限リニ非ス

第三條 末寺選出ニ係ル議員ノ任期ハ就職セシ日ヨリ滿四ケ年トス、但シ補欠ニ依リ議員タルモノハ前任者ノ殘任期トス

第四條 本末協議會ハ左ノ事項ヲ議スルモノトス

- 一、本宗制宗規ノ改正變更
- 一、本派經費ノ豫算決算

一、宗費賦課徵集ノ件

一、宗制宗規ニ明記セル事項

一、管長ニ於テ必要ト認メタル事項

一、布教々育ニ關スル件

一、管長候補者選定ノ件

第五條 協議會ニ議長一名ヲ置キ議事ヲ整理セシム

議長ハ開會ノ都度議員ノ互選ヲ以テ定ム

第六條 協議會ニ幹事一名、書記若干名ヲ置キ管長之ヲ命ス

幹事ハ議長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ掌理ス書記ハ議長及幹事ノ命ニ依リ庶務ニ從事ス

第七條 協議會ハ議員三分ノ二以上ノ出席ニ依リ之ヲ開キ議事ハ其ノ過半數ヲ以テ決シ同數ナル時ハ議長ノ決スル所ニ依ル

第八條 議員ハ議事ニツキ選舉人ノ指示若クハ囑託ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 第四條ノ協議事項中管長ニ於テ必要ト認ムル場合ハ文書ヲ以テ議員ニ諮詢シ會議ニ代ユルコトヲ得

第十條 前諸條ノ外本則施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

補 則

第十一條 大正十五年度中ニ就職セシ議員ニ限り任期ヲ就職セシ日ヨリ滿五ケ年トス

宗 規 第 四 號

本末協議會議員選定規則

第一條 本規則ハ宗制第四章第四十二條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 管長特選ニ係ル議員ハ本派寺院正住職ニシテ年齡滿二十五歲以上中僧都以上ノ者ニツキ之ヲ特任ス

特選議員ノ任期ハ選出議員ノ任期ニヨル

第三條 末寺選出議員ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ選出ス

第一區 和歌山縣下 四名

第二區 和歌山縣以外 一名

第四條 末寺選出議員ノ選舉人ハ其ノ區内本派寺院正住職一般トス

第五條 被選人ハ左ノ資格ヲ具備スルモノニ限ル

一、本派寺院正住職タルモノ

一、權少僧都以上ノモノ

一、年齡二十五歲以上ノモノ

第六條 左項ノ一ニ該當スルモノハ選舉人及被選人タルコトヲ得ス

一、懲誠處分中ノ者

一、降級以上ノ處分ヲ受ケ其特免ヲ得サル者及住職罷免以上ノ處分ヲ受ケタルモノ
ニシテ特免ニ依リ復職後滿一ケ年ヲ經過セサル者

一、宗費未完納ノ者但シ選舉發令ノ日ヨリ十五日間ニ完納シタル者ハ此限ニアラス

第七條 選舉ヲ行フ時ハ管長ニ於テ選舉期日ヲ定メ其選舉期日ノ前三十五日ノ現在ニ依リ選被選人ヲ調査シ被選人ニ在リテハ第三條ノ規定ニ依ル所屬區ヲ明記シ選舉期日三十日前ニ之ヲ告示スヘシ關係者ニ於テ異議アル者ハ告示ノ日ヨリ十五日間ニ管長ニ申出ツヘシ管長ハ修正スヘキハ修正ヲ加ヘ選舉期日ノ前十日ヲ限リ其ノ修正ノ部分ヲ告示スヘシ第六條第三號但書ニ該當スル者アルトキ亦同シ

選被選人名ハ選舉期日ノ前十日ヲ以テ確定ス此確定人名ニ漏レタルモノハ選被選人タ

ルコトヲ得サルモノトス資格ナクシテ確定人名ニ加ヘラレタルモノ又ハ確定人名ニ加ヘラレタルモノニシテ資格ヲ喪失シタルモノハ選舉權若クハ被選舉權ナキモノトス
第二項ニ依リ確定シタル人名ハ其ノ選舉ノ再選舉ヲ爲ストキモ亦之ニ依ルモノトス、
補欠選舉若クハ再選舉ヲ行フトキハ第一項ノ期日ヨリ短縮スルコトヲ得

第八條 選舉ハ投票ヲ以テ行フ

投票用紙及封筒ハ選舉期日ノ前十日ニ於テ宗務所ヨリ配布ス

投票用紙ハ如何ナル理由アルモ再交附セス

投票用紙及封筒ノ書式ヲ定ムルコト左ノ如シ

宗務所印
第 區
右本末協議會議員ニ 選舉ス

本末協議會議員投票 在中
何縣府 何郡市 何町 何院寺 何村 姓住職 名

第九條 投票ハ各自嚴封ノ上選舉期日ノ前日午後四時迄ニ本人ヨリ宗務所ニ差出スヘシ、投票ヲ郵便ヲ以テ差出ス時ハ上封筒ニ入レ書留郵便ヲ以テスヘシ、但シ前項期限ヲ過キ到達ノモノハ無効トス

第十條 投票ハ到達ノ順序ヲ以テ受付簿ニ記載シ直チニ投票函ニ收メ締切期日ニ至リ之ヲ閉鎖シ開封ノ時迄宗務所ニ保管スヘシ

第十一條 開票ハ宗務所ニ於テ選舉期日ニ選舉長一名立會人二名以上立會ノ上之ヲ執行ス

第十二條 選舉長ハ管長之ヲ特任ス立會人ハ選舉人中ヨリ選舉長之ヲ指定ス

第十三條 左ニ掲クル投票ハ無効トス

- 一、成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 一、選舉權ナキ者ノ爲シタル投票
- 一、投票書式ニ定ムル事項ヲ記載セサルモノ又ハ記載スルモ不明ナルモノ
- 一、封筒ニ選舉人ノ捺印ナキモノ又ハ宗務所ニ届出ノ印鑑ニ符合セサル印章ヲ用ヒタルモノ
- 一、資格ナキ被選舉人ノ姓名ヲ記載シタルモノ

一、候補者ニ非サル者ヲ記載シタルモノ

第十四條 投票ハ一人一票トシ第一區ハ無記名連記第二區ハ無記名單記トス

第十五條 投票効力ノ有無ニ付疑義アルトキハ立會人ノ意見ヲ聞キ選舉長之ヲ決ス

第十六條 本末協議會議員候補者タラントスルモノハ立候補届ニ供託金五拾圓ヲ添付シ選舉期日ノ前十日午後四時迄ニ本人ヨリ宗務所ニ提出スヘシ、但シ供託金ハ第十七條ニ該當スル場合ニ於テハ宗務所ノ臨時歳入ニ編入セラル、コトヲ承認スル旨ノ書面ヲ添付スヘシ

宗務所前項ノ届出ヲ受理シタルトキハ其ノ候補者ノ氏名ヲ遲滯ナク告示スヘシ異動アルトキ亦同シ

立候補届第一項ノ期限ヲ過キテ到着シタルトキハ無効トス

第十七條 供託金ハ其ノ候補者ノ得票其ノ區内ノ有効投票總數ヲ届出候補者數ヲ以テ除シタル數ノ四分ノ一ニ達セサルトキハ宗務所ニ歸入スルモノトス、届出期限後ニ至リ候補者タルコトヲ辭シタルトキ亦同シ、但シ左ノ各號ニ該當スル場合ハ此限りニアラス

一、議員候補者死亡シタルトキ又ハ被選舉資格ヲ有セサルニ至リタル爲候補者タル

コトヲ辭シタルトキ

一、第二十二條ノ規定ニヨリ次點者ヲ以テ當選人トナシタルトキ

第十八條 第十六條ノ規定ニ依ル候補者届出ノ期限ヲ過キ立候補數其ノ區内選出議員ノ定數ヲ越ヘサルトキハ選舉期日ノ前ト雖モ別ニ投票ヲ行ハスシテ之ヲ當選人ト定ム

第十九條 第三條ノ規定ニ依ル區分ニ從ヒ有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ多寡ヲ以テ當選ノ順位ヲ定メ得票同數ノ者二人以上アル時ハ教師等級高キ者ヲ取り等級同シキ時ハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ選舉長之ヲ定ム

第二十條 當選人定マリタル時ハ選舉長ハ之ヲ宗務所ニ報告シ宗務所ハ直チニ當選人ニ通知スヘシ

第二十一條 當選人前條ノ通知ヲ受ケタル時ハ其ノ諾否ヲ宗務所ニ届出ツヘシ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ承諾書ヲ差出ササル時ハ當選ヲ辭シタルモノト見做ス

第二十二條 當選人ニシテ其ノ當選ヲ辭シタルトキハ次點者ヲ當選人トシ第十九條、第二十條ノ手續ヲナスヘシ、當選人ナキトキ、當選ナキニ至リタルトキ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキハ再選舉ヲ行フモノトス

第二十三條 當選人確定シタル時ハ宗務所ハ當選證ヲ交付シ且之ヲ告示スヘシ

第二十三條 選舉ヲ行ヒタル時ハ選舉長ハ選舉錄ヲ作製シ立會人ト共ニ署名捺印シ投票

ヲ併セテ滿一ケ年間宗務所ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 本則施行上必要ノ規定ハ管長之ヲ定ム

附 則

本改正施行ノ際現ニ本末協議會議員タル者ハ引續キ其ノ職ニ在ルモノトシ末寺選出議員ノ任期ハ其ノ就職ノ日ヨリ起算ス

宗規第五號

教師補任條例

第一條 本條例ハ宗制第七章第六十三條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 京都專門學校卒業若クハ學年終了者並ニ東寺中學卒業若クハ學年終了ノ者ハ左ノ區分ニ從ヒ教師ニ補スルモノトス、但シ年齡滿二十年以上ノ者ニ限ル

師教	分 區
中僧都	京都專門學校本科卒業者又ハ同別科卒業業者
權中僧都	京都專門學校本科第三年修了者又ハ同別科第三年修了者
少僧都	京都專門學校本科第二年修了者又ハ同別科第二年修了者
權少僧都	京都專門學校本科第一年修了者又ハ同別科第一年修了者
律師	東寺中學卒業者
師權律	東寺中學第四年修了者
師教補	東寺中學第三年修了者

第三條 前條卒業若クハ學年終了者ニアラサル者ニ對シテハ京都專門學校東寺中學ニ

於テハ當該學年學科目ニ依リ學力試驗シ其ノ合格證書ヲ得タル者ハ前條ノ區分ニ準シ教師ニ補サレルコトヲ得、但シ年齡滿二十年以上ノ者ニ限ル

前項試験ニ關スル規則ハ各學費ノ定ムル所ニ依ル

第四條 年齢滿二十二年以上ニシテ度牒授與後滿二ケ年ヲ過キ東寺中學第三學年程度ノ學科目中ニ依リタル特別檢定試験ニ合格シ左項ノ一ニ該當スル者ハ教師試補ニ補スルコトヲ得

- 一、持戒堅固ニシテ護法篤志ノ者
- 一、寺門興隆上賛助ノ功勞アル者

但シ特別檢定試験受験者ハ必ス本山ニ於テ灌頂ヲ受ケ又ハ本山ノ承認ヲ得本山指定ノ場所ニテ灌頂ヲ受ケタル者ナルコトヲ要ス

第五條 前條ニ依ル教師ハ少僧都以上ニ昇補スルコトヲ得ス、但シ前條ニ依ル教師ニシテ更ニ第二條第三條ノ規定ニ依リ合格シタル者ハ此限リニアラス

第六條 教師ノ昇補ハ第二條第三條並ニ褒賞ニ依ルノ外原級ニ於テ左記ノ年限ヲ經過スルニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

- 一、中僧都以下ニ補スルハ 滿三年以上
- 一、權大僧都ニ補スルハ 滿五年以上
- 一、權少僧正以上ニ補スルハ 滿六年以上

第七條 第二條第三條ニ依ル昇補ハ其ノ學費ノ學長ニ於テ管長ニ具狀シ其ノ他ノ教師ノ昇補ハ宗務支所長ヨリ管長ニ具狀スルモノトス、但シ宗務支所ノ管轄ヲ受ケサル者ハ支所ヲ經由スルニ及ハス

補 則

第八條 高野山大學同中學卒業者及學年修了者ハ京都專門學校東寺中學卒業者及學年修了者ト同様ニ取扱フモノトス

宗規第六號

教 育 條 例

第一條 本條例ハ宗制第五章第四十七條ニ依リ之ヲ定ム
第二條 京都專門學校ニ本科並別科ヲ置キ各修業年限ヲ四ケ年トス
第三條 京都專門學校第一學年ニ入學セシムル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限
ル

- 一、中學校ヲ卒業シタル者
- 二、專門學校入學者檢定規定ニ依ル檢定試験ニ合格シタル者
- 三、專門學校入學者檢定規定ノ指定ヲ受ケタル者、京都專門學校別科第一學年ニ入
學セシムル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限り本科ニ欠員ヲ生シタル場合之ヲ
許ス
- 一、小學校本科正教員免許狀所有者
- 二、尋常小學校本科正教員免許狀所有者

- 三、小學校專科正教員免許狀所有者
- 四、小學校准教員免許狀所有者
- 五、教員免許令ニ依ル教員免許狀所有者
- 第四條 東寺中學ハ義務教育ヲ修了シ更ニ通常法式ニ用ヒル經典ヲ學得シタル者若シ
クハ試験ノ上是ト同等以上ノ學力アリト認メタル者又ハ各宗派ノ徒弟及本宗檀信徒ノ
子弟ニシテ入學試験ニ合格シタル者ヲ入學セシム
- 第五條 東寺中學ノ修業年限ヲ五ケ年トス
- 第六條 事相講傳所ハ傳法灌頂受了以上ノ者ヲ入學セシム
- 第七條 京都專門學校及東寺中學々則學科目其他職員選任法及學生々徒入學退學等ノ
諸規則ハ當該學長之ヲ定メ關係管長ノ承認ヲ得成規ノ手續ヲ經テ施行スルモノトス

宗規第七號

管長選定規則

- 第一條 本則ハ宗制第二章第六條ニ依リ之ヲ定ム
- 第二條 本派管長欠員トナリ又ハ管長辭任セントスルトキハ本則ニ依リ後任管長ヲ選定スルモノトス
- 第三條 管長ヲ選舉スルニハ本山ニ於テ御法流相續者ニシテ中僧正以上ノ者ニ就キ本末協議會ノ協議ヲ經テ候補者三名ヲ定ムルモノトス
- 第四條 前條御法流相續者ハ眞言宗各派教師中ニツキ本派管長在任中ノヲ定メ其ノ名簿ニ登錄シ宗務所ニ保管スルモノトス
- 第五條 管長選舉ノ選舉人ハ本派寺院正住職一般トス但シ投票ハ一人一票單記トス
- 第六條 選舉規則ハ本則ニ明記セル外本末協議會議員選舉規則ヲ準用ス
- 第七條 有効投票最多數ヲ得タルモノヲ以テ當選人トシ當選人定マリタル時ハ選舉長ハ直チニ當選人ニ通告シ其ノ承諾ヲ求ムルモノトス

- 第八條 第三條規定ノ候補者ニシテ死亡シ又ハ候補者辭退届ヲ宗務所ニ提出シタルトキハ宗務所ハ直チニ其ノ旨ヲ告示スヘシ候補者一名ニ至リタルトキハ選舉期日前ト雖モ選舉投票ヲ用ヒスシテ其ノ候補者ヲ當選人ト定ム、候補者ナキニ至リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フモノトス
- 第九條 當選人ナキトキ又ハ辭退シタルトキ若クハ當選人ニシテ就職以前死亡シタルトキハ再選舉ヲ行フモノトス
- 第十條 本則施行ノ際現ニ管長タル者ハ引續キ其ノ職ニ在ルモノトス
- 第十一條 本改正施行ノ際現ニ管長タル者ハ引續キ其ノ職ニ在ルモノトス

宗規第八號

寺有財產保管條例

- 第一條 本條例ハ宗制第十四章第百十三條ニ依リ之ヲ定ム
- 第二條 寺有財產ヲ分チテ左ノ四種トス
- 第一種、貴重ナル佛體佛具經卷古文書並由緒アル物品寶物

- 第二種、境内地並ニ境内地ニ在ル建物
- 第三種、境外所有地及建物並有價證券蓄積資金ノ類
- 第四種、第一種乃至第三種ニ屬セサル物件
- 第三條 寺有財産ハ凡テ三寶所屬ノ物件ナルヲ以テ其ノ住職ニ於テ嚴重ニ保管スヘキモノトス
- 第四條 凡テ寺院ハ寺有財産帳ヲ調製シ宗務所、宗務支所及其ノ本寺ニ各一通ヲ差出シ一通ハ其ノ寺院ニ備ヘ置クモノトス但シ宗務支所ノ管轄ヲ受ケサル寺院ノ財産帳ハ宗務支所ニ差出スニ及ハス
- 第五條 寺有財産帳ニハ其ノ住職及法類總代若クハ信徒總代連署ノ上宗務支所長並本寺住職ノ奥印ヲ受ケ置クヘシ、但シ宗務支所ノ管轄ヲ受ケサル寺院ノ財産帳ハ支所長ノ奥印ニ代フルニ管長ノ奥印ヲ以テス
- 第六條 第一種第二種第三種ニ屬スル財産ハ寺院維持上又ハ公益上ノ必要ニ依リ法規ニ從ヒ行政廳ノ許可ヲ受クルニアラサレハ賣却讓與質入書入ヲ爲スコトヲ得ス
- 第七條 第三種ニ屬スル財産中有價證券蓄積資金ノ類ニシテ別ニ保管法ノ定メナキモノハ關係人協議ノ上確實ナル方法ヲ定メ管長ノ認可ヲ受クヘシ

- 第八條 第三種ニ屬スル財産ヨリ生スル收益ハ其ノ用途ニ就キ別ニ方法ノ定メナキモノハ關係人協議ノ上其ノ方法ヲ定メ置クヘシ
- 第九條 第四種ノ財産ト雖モ關係人協議ヲ以テ第一種乃至第三種ニ編入スルコトヲ得又管長ニ於テ必要ト認ムルトキハ之カ編入ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十條 管長ハ寺有財産ノ保管ニ對シ必要ト認ムルトキハ其ノ寺院關係人ヘ之カ保管方法ヲ命令スルコトアルヘシ
- 第十一條 住職交替ノ際ハ任命後五十日以内ニ關係人立會ノ上第一種乃至第四種ノ物件ヲ財産帳ト照合シ授受ノ證印ヲ該財産帳ヘ捺シ宗務支所長又ハ管長ノ證明ヲ受クヘシ但シ住職此手續キヲ爲スコト能ハサル場合ニハ法類代リテ處理スヘシ
- 第十二條 住職欠員ノ節ハ法類總代及檀徒總代又ハ信徒總代立會シ寺有財産帳ト照合シ置キ後任住職確定ノ後前條ニ準シテ之ヲ處理スヘシ
- 第十三條 管長ニ於テ必要ト認ムルトキハ宗務所職員又ハ本寺住職若クハ地方職員ニ命シ寺院ニツキ其ノ寺有財産ノ調査ヲナサシムルコトアルヘシ
- 第十四條 寺有財産ノ異動ニ關シ監督官廳ヘ出願セントスル時ハ其ノ事由ヲ明記セル本願ニ管長宛添書願ヲ添ヘ關係人連署本寺ノ副仲ヲ得テ宗務所ニ提出スヘシ

第十五條 寺有財産帳ノ異動若クハ訂正ノ場合ハ關係人連署ノ上宗務支所及其ノ本寺ニ届出ツヘシ

第十六條 前諸條ノ外本條例施行ニ關シ必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第九號

會計條例

第一條 本條例ハ宗制第九章第七十五條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 寺院賦課金其ノ他一切ノ收入ヲ以テ歳入トナシ一切ノ經費ヲ以テ歳出トス

第三條 毎年度ニ屬スル歳入歳出ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 豫算ハ款項ヲ區分シ編成スヘキモノトス

第五條 豫算中ニ豫備費ヲ置キ豫算各款ノ不足其ノ他必要ノ經費ニ充ツルモノトス

第六條 豫算外ニ於テ緊急支出ヲ要シ協議會ノ協議ヲ經ル違ナキ時ハ管長ニ於テ便宜之ヲ處理スルコトヲ得

前項ニ係ル支出ハ次期協議會ニ於テ承認ヲ得ルヲ要ス

第七條 豫算歳出ニ係ル各款ノ費用ハ彼此流用スルコトヲ得ス

第八條 會計ニ餘剩ヲ生シタルトキハ翌年度ノ歳入ニ繰入ル、モノトス

第九條 賦課金等ノ延納ニ係ル歳入ハ實際收納シタル年度ノ歳入ニ屬スルモノトス

第十條 總テ收入支出ハ其ノ收入若クハ支出ノ都度管長ノ承認ヲ經ヘキモノトス

第十一條 總テ百圓以上ノ現金ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ置クモノトス

第十二條 會計ハ總テ明細ニ帳簿ニ記載シ本末協議會議員ノ要求アルトキハ何時ニテモ

檢閲セシムルモノトス

會計帳簿ノ編製方ハ管長ノ定ムル所ニ依ル

第十三條 歲計ノ決算書ハ豫算ノ様式區分ニ從ヒ左記收支事項ヲ明記スヘシ

歲 入 之 部

一、歲入豫算總額

二、歲入既收額

三、歲入未收額

四、歲入不足額

五、歲入超過及欠損額

歲 出 之 部

一、歲出豫算額

二、歲出支拂額

三、歲出剩餘又ハ不足金額

第十四條 歲入歲出ノ豫算ハ四ヶ年ニ亘リ各別ニ編成シ本末協議會ニ提出スヘシ

第十五條 本條例施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第十號

褒 賞 條 例

第一條 本條例ハ宗制第十章第七十九條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 左項ノ一ニ該當スル行爲アル者ニシテ教師ナルトキハ特遇狀ヲ授與シ教師ニ

アラサル僧侶ナルトキハ法衣ヲ授與シ檀信徒ナルトキハ物品ヲ授與ス

一、宗派ノ事務又ハ僧侶ノ教育又ハ布教上顯著ナル功績アル者

一、國家又ハ社會公益ノ爲ニ盡瘁シ宗門ノ光榮ヲ發揮セシ者

一、學術德行衆ニ超ヘ他ヘ模範トナル者

一、寺院ヲ建立シ又ハ永世維持ノ方法ヲ確定セシ者

第三條 左項ノ一ニ該當スル行爲アル者ニシテ僧侶ナルトキハ法衣又ハ物品ヲ授與シ

檀信徒ナルトキハ物品ヲ授與ス

- 一、宗派ノ事務又ハ僧侶ノ教育又ハ布教上特ニ功勞アル者
- 一、宗義其ノ他ニ關シ有益ノ著述ヲ爲シ社會ヲ裨益シタル者又ハ社會事業ニ關シ功勞アル者

一、持戒堅固ナル者

一、寺院ノ修理ヲ成就シ其ノ功勞著シキ者

一、教會所ヲ新設シ其ノ維持方法ヲ確立セシ者又ハ會員壹千人以上募集シタル者

第四條 左項ノ一ニ該當スル行爲アル者ニハ物品ヲ授與ス

一、淨財又ハ田園等ヲ喜捨シテ寺門永護ノ基礎ヲ立テシ者

一、寺院堂塔ノ新築改造ノ爲メ拔群ノ盡力ヲ爲シ又ハ多額ノ淨財ヲ喜捨セシ者

一、宗學生ノ爲メ淨財ヲ喜捨シ宗義相續ヲ扶ケシ者

第五條 左項ノ一ニ該當スル者ニハ賞狀ヲ附與ス

一、僧侶ノ教育又ハ布教ニ勉勵セシ者

一、三寶篤信ニシテ他ノ模範トナル者

一、宗門若クハ寺院外護ニ功勞アル者

第六條 第二條乃至第五條ニ該當スル行爲アル者ニシテ生前別ニ褒賞ヲ受ケサリシ者

ニハ前各條ニ依準シ追賞ヲ行フコトヲ得

第七條 宗務支所長ハ其ノ支所管内ニ於テ褒賞ヲ行フヘキ者アル事ヲ認メタルトキハ

其ノ事實ヲ調査シ管長宛ノ具狀書ヲ宗務所ニ提出スヘシ

宗務支所ノ管轄ニ屬セサル寺院住職其他檀信徒ニシテ褒賞ヲ行フヘキモノアル時ハ宗

務所ニ於テ事實ヲ調査スルモノトス

第八條 本條例施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

補 則

第九條 眞言宗各派ノ一ニ於テ褒賞ヲ受ケタルモノハ本派ニ於テモ同一ノ褒賞ヲ受ケ

タルモノト認ム、但シ待遇褒賞ヲ行ハントスルトキハ豫メ關係宗派管長ノ同意ヲ經ルヲ要ス

宗規第十一號

懲 誠 條 例

第一章 總 則

第一條 本條例ハ宗制第十章第七十九條ニ依リ之ヲ定ム

第二章 懲 誠 處 分

第二條 左項ノ一ニ該當スル者ハ譴責ニ處ス

- 一、職務上過誤失策アル者
- 二、本末ノ權義ヲ紊ル者

三、正當ノ事故ナクシテ本山派出布教ノ會所若クハ教會支部ノ設置ヲ拒絕シタル者

第三條 左項ノ一ニ該當スル者ハ懺悔ニ處ス

- 一、正當ノ事由ナクシテ宗務所又ハ同支所ノ召喚ニ應セサル者
- 二、宗務支所長管理副管理ニシテ宗費ノ賦課徵收ノ責ヲ有スル者其ノ徵收ヲ怠リ又

ハ故意ニ期限内ニ納付セサル者

三、宗費ノ賦課金ヲ滯納セシ者

四、教師若クハ布教師ノ等級稱號ヲ詐稱シタル者

五、允可ヲ得スシテ色衣ヲ被着シタル者

六、三寶護持ノ目的ニ反シ寺院ヲ貸與使用シタル者

七、素行修ラス僧侶ノ體面ヲ毀損シタル者

八、異様ノ服裝ヲ爲シ其ノ他僧風ヲ紊亂セシ者

九、管長又ハ本寺住職又ハ師僧ニ對シ鹿暴ノ行ヲ爲セシ者

十、一寺住職ニシテ相當ノ事由ナク徒弟教育ヲ怠ル者

十一、托鉢免許規則ニ違背セシ者

十二、拘留又ハ科料ニ處セラレタル者

第四條 左項ノ一ニ該當スル者ハ降級ニ處ス

一、寺院又ハ教會所說教所ノ用ニ托シ濫リニ勸財ヲ爲セシ者

二、教會員ヨリ領收セル會費ヲ納付セサル者

三、教會所又ハ說教所ノ用ニ充テタル財産並維持基金ヲ當該教會所說教所ノ規約ニ

規定セル手續ヲ經スシテ消費シタル者

四、寺院住職ニシテ其ノ寺院所有ノ地所建物及地上權ノ收得金維持基金什寶物貴重ノ器具軸物等ヲ隱匿シ宗務所へ届出ヲ怠リタル者、但シ本項ハ摘發セラレサル以前ニ届出セシモノハ特ニ懲誠ヲ減免スルコトヲ得

五、宗意ニ違背スル説教、演説ヲ爲セシ者

六、管長又ハ本山、宗務所、同支所役員ノ名義ヲ詐稱セシ者

七、罰金ノ刑ニ處セラレタル者

八、他人ノ住職進退ニ際シ私意ヲ挿ミ妨害ヲ爲ス者

第五條 左項ノ一ニ該當スル者ハ住職罷免ニ處シ教師等級一級ヲ降下ス

一、品行不良ニシテ檀信徒ノ歸依ヲ失シタル者

二、猥リニ離加末又ハ轉宗轉派ヲ企ツル者

三、宗派ノ規則ニ依リ行フ選舉ニ關シ賄賂ヲ授受シ其ノ他不正ノ行爲アル者

四、住職ノ職務ヲ怠リ寺門ヲ衰頽セシムル者又ハ失踪後五ヶ月以上行衛不明ノ者

五、正當ノ手續ヲ經スシテ寺有財産ヲ曲賣セントシタル者

六、正當ノ手續ヲ經スシテ寺有財産物件ヲ讓與シ又ハ質權若クハ抵當權設定ノ目的

物トナシタル者

七、宗費ノ賦課金ヲ怠納シ三期以上ニ及ヒタル者

第六條 左項ノ一ニ該當スル者ハ教師黜免ニ處ス

一、正當ノ手續ヲ經スシテ寺有財産ヲ曲賣セシ者

二、管長又ハ本寺住職又ハ師僧法類ニ對シ奸曲ノ所業アル者

三、破産ノ宣告ヲ受ケタル者

四、宗費ノ賦課金ヲ滯納シ四期以上ニ及ヒタル者

五、非住職ノ教師ニシテ義務金滯納三回ニ及ヒタル者

第七條 左項ノ一ニ該當スル者ハ宗派擯斥ニ處ス

一、宗意及宗祖ノ遺訓ニ背キ異議ヲ唱フル者

二、管長ノ命令ヲ遵守セス又ハ之ニ反抗シタル者

三、濫リニ宗制宗規ニ紛更ヲ企テタル者

四、宗費ノ賦課金ヲ納メス且他人ヲ教唆シテ同上ノ行爲ヲ爲サシムル者

五、管長宗務所宗務支所宗務傳達所又ハ學校ノ公印文書ヲ偽造變造シテ行使シタル

者又ハ公印ヲ盜用シタル者

六、管長又ハ本山又ハ宗務所同支所又ハ學校ノ名義ヲ詐稱シ金錢物品ヲ騙取セシ者
七、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

第三章 誠 例

第八條 宗務支所長ハ其ノ管内ニ於テ懲誠ヲ行フヘキ者アル事ヲ認メタル時ハ其ノ事實ヲ調査シ管長宛具狀書ヲ宗務所ニ提出スヘシ

宗務支所ノ管轄ニ屬セサル寺院住職其ノ他僧侶ニシテ懲誠ヲ行フヘキ者アルコトヲ認メタルトキハ宗務所ニ於テ事實ヲ調査スルモノトス

第九條 教師ニアラサル僧侶ニシテ第四條乃至第六條ノ各項ニ該當スル行爲アルトキハ懺悔ニ處ス又住職ニアラサル教師ニシテ第五條ノ各項ニ該當スル行爲アリタルトキハ降級ニ處ス

第十條 懲誠ニ付スヘキ者ノ内左項ノ一ニ該當スルモノハ一等又ハ二等ヲ減スルコトヲ得

一、自首セシ者

一、十歳未満ノ者

一、七十歳以上ノ者

一、事犯ノ情狀酌量スヘキ者

第十一條 刑法ノ所罰ニ基キ懲誠スヘキ者ノ内執行猶豫ヲ受ケタル者ニ對シ本罰ヨリ一等乃至三等ヲ減シテ處分スルコトヲ得、但シ刑法ノ執行猶豫ヲ取消サレタルトキハ更ニ原罪ニ依リ處分ス

第十二條 同科再犯ノ者ハ更ニ一等ヲ加ヘ二科俱發ノ者ハ重キヲ以テ處斷シ並ニ事犯ノ情狀重キ者ハ一等又ハ二等加重シテ處分ス

第十三條 懲誠ノ加重並ニ輕減ハ左ノ等級ニ依ル、但シ本罰教師黜免又ハ住職罷免ニ該當スル者ハ加ヘテ宗派擯斥ニ入ルヲ得ス亦本罰譴責ニ該當スル者ヲ減スルトキハ懲誠セサルモノトス

一、宗派擯斥

一、教師黜免

一、住職罷免

一、降 級

一、懺 悔

第四章 懲誠減免僧侶分限復得

第十四條 降級ニ處セラレタルモノニシテ改悛ノ實アル者ハ本寺ノ副書ヲ得テ宗務支所長ノ具狀アリタルトキ又ハ管長ノ裁量ニ依リ特ニ其ノ懲誠ヲ減免スルコトヲ得

第十五條 教師黜免又ハ住職罷免ニ處セラレタル者ニシテ滿一ヶ年以上ヲ經過シ改悛ノ實アル者ハ本寺ノ副書ヲ得テ宗務支所長ヨリ具狀アリタルトキ又ハ管長ノ裁量ニ依リ懲誠ヲ減免スルコトヲ得、但シ破産ノ宣告ヲ受ケタル者ハ復權ノ上ニアラサレハ本文ノ限リニアラス

第十六條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルニ依リ懲誠ニ處シタル者ニ對シテハ前二條ニ依ルノ外尙處刑ヲ終リ爾後三ヶ年以上ヲ經過シタル者ニアラサレハ之ヲ特免セサルモノトス

第十七條 宗派擯斥ノ者ニ對シテ特免ヲ行ヒタルトキハ更ニ度牒ヲ授與スルコトナクシテ本派ノ僧侶ニ復籍シタルモノトス

第十八條 降級、住職罷免、教師黜免、宗派擯斥ノ者ニ對シテ特免ヲ行ヒタル時ハ本人カ元

有シタル僧階ト同等若クハ其レ以下ノ僧階ヲ復得セシムルコトヲ得、但シ此ノ場合ハ普通昇補ノ手續ニ依ルヘキモノトス

第十九條 本條例施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

補則

第二十條 眞言宗各派ノ一ニ於テ懲誠ヲ受ケタルモノハ本派ニ於テモ同一懲誠ヲ受ケタルモノト認ム、但シ降級以上ノ懲誠ヲ行ハントスルトキハ豫メ關係宗派管長ノ同意ヲ經ルヲ要ス

宗規第十一號

檀信徒取扱規則

第一條 本條例ハ宗制第十三章第百十條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 寺院ニ備フヘキ檀徒名簿信徒名簿ニハ檀信徒ノ族籍姓名及職業ヲ詳録スヘキモノトス

第三條 新ニ檀徒又ハ信徒ニ加入セシコトヲ望ム者アルトキハ住職ニ於テ本人ノ志望ヲ認諾シタル上前條ノ名簿ニ記入スヘシ

第四條 甲寺檀徒ニシテ乙寺檀徒ニ轉換センコトヲ望ムモノアルトキハ甲寺住職ノ承認ヲ得タル者ハ前條ノ手續ヲ爲スコトヲ得、甲寺住職ニ於テ異議アル者ニ就テハ其ノ檀徒ニ係ル緊急ノ法會ハ假リニ乙寺住職ニ於テ所辨スルコトヲ得

第五條 自ラ檀徒又ハ信徒タルコト罷メントスル者アルトキハ住職ニ於テ再三説諭ヲ加ヘ尙之ニ應セサル者ハ名簿ヨリ削除スヘシ

第六條 左ノ一ニ該當スル者ニシテ管長ノ認許ヲ經タルトキハ住職ニ於テ檀徒又ハ信徒タルコトヲ拒絕シ名簿ヨリ削除シ其旨本人へ告知スヘシ

- 一、宗旨ニ反シ異議ヲ唱フル者
- 二、故ラニ本山又ハ所屬寺院ノ維持保存ヲ妨害スル者
- 三、濫リニ他人ヲ教唆煽動シテ管長宗務所職員宗務支所職員及所屬寺院住職ノ職務ヲ妨害スル者
- 四、寺院所有ノ財産ニ對シ不正ノ行爲ヲ爲ス者
- 五、寺院住職ノ進退ニ關シ私意ヲ插ミ妨害ヲ爲ス者

第七條 寺院ニ於テ檀徒總代若クハ信徒總代ヲ定メタルトキハ其都度住職ヨリ所轄市町村ニ届出テ並ニ宗務所同支所及本寺へ届出ツヘシ

第九條 住職ハ毎年十二月末日ノ現在ニ依リ檀徒ノ戸數並ニ員數及信徒ノ員數ヲ調査シ宗務所ニ届出ツヘシ

第九條 本則施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第十三號

宗費賦課徵收諸禮錄徵收法

第一條 本法ハ宗制第九章第七十一條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 本派ノ宗費ハ寺院割課金收入割課金、兼務寺院特別課金、臨時費及義務金ノ五種トス

- 一、寺別割課金ハ豫算ヲ以テ定ムル所ニ依リ各寺院均一ニ賦課スルモノトス
- 一、收入割課金ハ豫算總額中寺別割課金、兼務寺院特別課金、諸禮錄金ヲ控除シタル殘額ヲ各寺院ノ收入額ニ依リ案分比例ヲ以テ算出シ各寺院ニ賦課スルモノトス

一、兼務寺院特別課金ハ寺院ノ等級ニ應シ其ノ等級ノ平均收入率ノ五分ヲ兼務寺院ヨリ徴收スルモノトス

一、臨時費ハ各寺院ノ收入額ニ依リ按分比例ヲ以テ算出シ各寺院ニ賦課スルモノトス

一、本派教師ニシテ非住職タルモノヨリ毎年二月義務金壹圓ヲ徴收スルモノトス

第三條 教師補任禮録ハ左ノ通り之ヲ定ム、但シ贈補禮録ハ總テ半額トシ宗規第五號第二條ニ依ルモノハ特ニ禮録金ヲ免除シ同第四條ニ依ルモノハ禮録トシテ男僧ハ五拾圓尼僧ハ貳拾圓トス

教師等級	禮録金額
大僧正	禮録金不要
權大僧正	壹八五〇〇
中僧正	壹六〇、〇〇
權中僧正	壹參五、〇〇
少僧正	壹壹〇、〇〇
權少僧正	九〇、〇〇

大僧都	六八、〇〇
權大僧都	五六、〇〇
中僧都	四五、〇〇
權中僧都	參六、〇〇
少僧都	貳七、〇〇
權少僧都	貳〇、〇〇
律師	壹參、〇〇
權律師	九、〇〇
教師試補	五、〇〇

第四條 宗費賦課金ハ毎年二期ニ分チ左記ノ通り其ノ期日迄ニ宗務所又ハ宗務支所ニ於テ徴集スルモノトス

一、收入割課金、寺別割課金、兼務寺院特別課金ハ毎年二月ト八月トノ二回ニ半額宛ヲ徴集ス

宗務支所ニ於テ前項課金ヲ領收シタル時ハ直チニ假領收證ヲ各納人ニ交附スルモノトス、但シ宗務支所ノ管轄ヲ受ケサル寺院ハ直接宗務所ヨリ徴集ス

- 第五條 宗務支所ニ於テ前條課金ノ納付ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ宗務所ヘ納付スヘキモノトス
- 第六條 宗務所ハ課金ノ納付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ直接又ハ宗務支所ヲ經テ納人ニ領收證ヲ交附ス
- 第七條 寺院ハ納付ノ日ヨリ三十日以上ニ涉ルモ宗務所ノ領收證ヲ受ケ取ラサル時ハ直接宗務所ニ照會スルコトヲ得
- 第八條 第三條ニ依ル禮録金ハ教師具狀ノ際具狀書ニ添ヘ其ノ具狀ニ依ラサルモノハ教師補任ヲ受クル時宗務所ニ納附スヘシ之レニ對シ別ニ領收書ハ交附セス若シ願意ヲ採用セサルトキハ禮録金ヲ返付ス
- 第九條 宗費徵集ニ關スル費用ハ宗務所又ハ宗務支所ニ於テ支辨スルモノトス
- 第十條 課金怠納ノ爲メ特別ニ督促ヲ要セシトキハ其ノ費用ハ總テ怠納者ノ負擔トシ別ニ之ヲ徵收ス
- 第十一條 課金怠納者ニ對シ宗務所及同支所ハ集金郵便ヲ以テ徵收スルコトアルモノトス
- 第十二條 宗務所ハ時宜ニ依リ臨時派出員ヲシテ未納金ヲ整理セシムルコトアルヘシ此

ノ場合ニ於テ要スル費用ハ總テ怠納者ノ負擔トス、但シ宗務所及宗務支所ニ於テ未納金ノ整理ヲ爲ストキモ之ニ準ス

第十三條 納金義務ヲ怠リタル者ノ叙任其他進退ノ諸願書ハ其ノ課金ヲ完納シタル後處理スルモノトス

第十四條 正當ノ事故ナクシテ納期後三十日ヲ過キ課金ヲ納付セサル者ハ管長ハ之ヲ滯納者トシテ處分ス

第十五條 天災時變等ニ依リ寺院課金ノ負擔ニ堪エサルモノアルトキハ之ヲ審査シ確認シタルモノニ限リ其ノ課金ノ全部又ハ幾部ヲ免除スルコトヲ得
前項課金ノ減免ニ關スル細則ハ管長別ニ之ヲ定ム

第十六條 宗務所及同支所ニ於テ寺院賦課金若クハ禮録金等其ノ保管ニ係ル金品ヲ過誤怠慢ノ爲メ燒失若シクハ盜難其ノ他ノ事故ニ依リ損害ヲ生シタル時ハ其ノ主任者ニ於テ之カ辨償ノ責ニ任スヘキモノトス

第十七條 本派寺院ノ住職補任禮録ノ額ハ寺格等級ニ依リ左ノ通り之ヲ定メ宗務所ニ納付スヘキモノトス

大本山直末寺院ニ住職又ハ兼務住職ヲ願ヒ出ツル者ハ更ニ左ノ繼目禮録ヲ大本山ニ納

付スヘキモノトス前二項ノ禮録ハ副住職ニアリテハ其ノ半額トス

寺院等級 住職補任禮録

繼目禮録

大本山禮録 禮録不要

禮録不要

特等 一等

參〇〇〇、〇〇

貳〇〇〇、〇〇

同 二等

貳〇〇〇、〇〇

壹參參〇、〇〇

同 三等

壹〇〇〇、〇〇

八六七、〇〇

同 四等

八五〇、〇〇

五六七、〇〇

同 五等

五〇〇、〇〇

參參參、〇〇

等地 一等

參貳〇、〇〇

貳壹參、〇〇

同 二等

貳五〇、〇〇

壹六七、〇〇

同 三等

貳壹〇、〇〇

壹四〇、〇〇

同 四等

壹七〇、〇〇

壹壹參、〇〇

同 五等

壹四五、〇〇

九七、〇〇

同 六等

壹貳〇、〇〇

八〇、〇〇

同 七等

壹〇〇、〇〇

六七、〇〇

同 八等
同 九等
同 十等
同 十一等
同 十二等
同 十三等
同 十四等
同 十五等
同 十六等
同 十七等
同 十八等
同 十九等
同 二十等
同 二十一等
同 二十二等

八五、〇〇
六五、〇〇
五貳、〇〇
四〇、〇〇
參貳、〇〇
貳七、〇〇
貳貳、〇〇
壹八、〇〇
壹五、〇〇
壹貳、〇〇
壹〇、〇〇
八、〇〇
六、〇〇
四、五〇
參、五〇

五七、〇〇
四參、〇〇
參七、〇〇
貳七、〇〇
壹八、〇〇
壹七、〇〇
壹貳、〇〇
壹〇、〇〇
八、〇〇
七、〇〇
五、〇〇
四、〇〇
參、〇〇
貳、〇〇

同二十三等	貳、五〇	貳、〇〇
同二十四等	壹、五〇	壹、〇〇
同二十五等	〇、五〇	〇、五〇

但シ本派以外ノ眞言各派ノ教師ニシテ本派寺院ニ住職セントスル者ノ禮録金ハ倍額トス

第十八條

度牒授與禮録、托鉢免許禮録、轉派出入禮録ハ金五圓、非住職ノ托鉢免許禮録師僧替禮録ハ金貳圓、各種添書及證明書禮録ハ金壹圓トシ宗務所ニ納付スヘキ者トス

第十九條

色衣允可禮録ハ左ノ等級ニ依リ宗務所ニ納付スヘキモノトス、但シ宗規第五號第二條ニ依リ教師補任ノ際色衣允可ヲ具狀スルモノニ對シテハ各等級ニ通シ禮録金ヲ免除ス

色衣等級	禮録金額
紫色	壹〇、〇〇
萌黄色	八、〇〇
黄色	六、〇〇
淺黄色	四、〇〇

淡紅色

貳、〇〇

第二十條

寺格昇格ニ關スル冥加金ハ左ノ通リトシ大本山ニ納付スヘキモノトス

寺格	禮録	
三等格院	孫末寺	貳〇、〇〇
二等格院	小本寺	五〇、〇〇
一等格院	中本寺	壹〇〇、〇〇
準別格本山		參〇〇、〇〇
別格本山		五〇〇、〇〇

第二十一條 本法施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第十四號

寺院等級査定昇降規則

第一條 本則ハ宗制第十一章第九十一條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 各寺院財産收入ノ査定及等級昇降ハ本則ニ依リ管長之ヲ行フ

第三條

寺院財産收入ハ左ノ標準ニ依リ實收入ノ査定ヲナスモノトス

七〇

(一) 境内地、墓地

左記ノ收入ハ總テ申告ノ收入額ヲ實收入トス

一、境内地賃貸料及境内地產物收入

二、境内地建物ノ賃貸料

三、飛地境内佛堂ノ收入

四、墓地ノ收入

(二) 田地

田地ハ左ノ各號ヲ標準トシテ別ニ定ムル等級及實收入表ニ依ル

一、其市郡一方里平均人口

二、同田一町歩ト人口トノ割合

三、同田一反歩平均收穫

四、同田一反歩平均地價

(三) 畑地

畑地ハ左ノ各號ヲ標準トシテ別ニ定ムル等級及實收入表ニ依ル

一、其市郡一方里平均人口

二、同畑一町歩ト人口トノ割合

三、同畑一反歩平均收穫

四、畑一反歩平均地價

(四) 宅地

宅地ハ申告額ヲ收入トシ其ノ六割ヲ以テ實收入トス但シ申告收入額カ過少ナルト

キハ地價ノ一割二分ヲ實收入トス

宅地ニシテ貸家ヲ建設セル部分ハ之ヲ除外スルモノトス

(五) 貸家

貸家ハ申告ノ賃貸料ヲ收入トシ其五割ヲ以テ實收入トス但シ他人ノ土地ニ建設セ

ルモノハ其ノ賃貸料ノ三割ヲ實收入トス

(六) 山林、雜地

山林及雜地ハ左ノ各號ヲ標準トシテ別ニ定ムル等級實收入表ニ依ル

一、其市郡一方里平均人口

二、同山林雜地一町歩ト人口トノ割合

七一

- 三、山林及雜地一町步ノ平均地價
- (七) 保安林
保安林ハ申告ノ收入額ヲ以テ實收入トス
- (八) 保管林
保管林ハ分收金及副產物收入ノ一ケ年平均額ヲ收入トシ其三割ヲ以テ實收入ト定ム
- (九) 檀信徒
東京、横濱、名古屋、大阪、神戸ノ五大都市ノ檀徒ハ一戸ニ付金參圓貳拾錢ヲ實收入トス
其他ノ檀徒ニアリテハ市部人口五千人以上ノ町同未滿ノ町、村落ヲ四種ニ區別シ各左ノ標準ヲ以テ別ニ定ムル等級及實收入表ニ依ル
- 一、其市郡一方里平均人口
- 二、同寺院說教所ト人口トノ割合
- 三、同本宗寺院ト各宗寺院トノ割合
- 四、人口壹萬人ニ對スル犯罪人ノ割合

半檀ノ實收入ハ檀徒實收入ノ半額トス
信徒及講社ノ收入ハ申告額ヲ實收入トス

(十) 末寺

末寺ノ收入ハ申告ノ收入ヲ實收入トス

(十一) 札所、參詣所

西國靈場納經料ハ金百圓以上ヲ實收入トス祈禱料、守料、廻向料其他一切ノ賽物ハ大正十四年施行セル財産調査ノ査定率ヲ降下スルコトヲ得ス

(十二) 蓄積金、有價證券

蓄積金、及有價證券ノ收入ハ年利三分ヲ實收入トス

第四條 前條財産又ハ收入ニシテ正當ノ事由アリト認メタルトキハ其ノ實收入査定ニ付斟酌スルコトヲ得

第五條 左記ノ各號ニ該當スル場合ハ認定ヲ以テ其ノ實收入ヲ査定ス

- 一、財産並ニ收入ニ關スル届出ヲ怠リタルモノ
- 二、正當ノ事由ナクシテ從來届出ノ財産並ニ收入ヲ消失又ハ減少シタルモノ
- 三、不動産ニシテ市町村役場ヨリ寺有財産トシテ納税シアル旨通牒アリタルモノ

四、支所内ノ權衡上特ニ必要アル旨當該支所長ヨリ具狀アリタルモノ
 第六條 寺院等級ハ前各條ニ依リ査定セル實收入ニ伴フモノトス
 第七條 本則ハ教會所ノ財産並ニ實收入査定ニ準用ス
 第八條 本則施行ニ關シ必要ノ細則ハ管長之ヲ定ム

寺院等級査定表

宗規寺院等級査定昇降規則第三條中ノ實收入表ハ左ノ如シ

種別	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
實一段收入歩	二、三、一〇〇	二、三、九五〇	二、三、八〇〇	二、三、六五〇	二、三、五〇〇	二、三、三五〇	二、三、二〇〇	二、三、〇五〇	二、二、九〇〇	二、二、七五〇	二、二、六〇〇	二、二、四五〇	二、二、三〇〇	二、二、一五〇	二、二、〇〇〇	一、一、八五〇	一、一、七〇〇	一、一、五五〇	一、一、四〇〇	一、一、二五〇
種別	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	
實一段收入歩	一、〇、一〇〇	九、九、五〇〇	九、八、八〇〇	九、八、〇〇〇	九、七、六五〇	九、七、〇〇〇	九、六、五〇〇	九、六、〇〇〇	九、五、五〇〇	九、五、〇〇〇	九、四、五〇〇	九、四、〇〇〇	九、三、五〇〇	九、三、〇〇〇	九、二、五〇〇	九、二、〇〇〇	九、一、五〇〇	九、一、〇〇〇	八、〇、〇〇〇	七、九、五〇〇
種別	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	
實一段收入歩	四、五、八〇〇	四、五、五〇〇	四、五、〇〇〇	四、四、八〇〇	四、四、五〇〇	四、四、〇〇〇	四、三、八〇〇	四、三、五〇〇	四、三、〇〇〇	四、二、八〇〇	四、二、五〇〇	四、二、〇〇〇	四、一、八〇〇	四、一、五〇〇	四、一、〇〇〇	三、九、八〇〇	三、九、五〇〇	三、九、〇〇〇	三、八、八〇〇	三、八、五〇〇
種別	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	
實一段收入歩	三、五、三〇〇	三、五、〇〇〇	三、四、八〇〇	三、四、五〇〇	三、四、〇〇〇	三、三、八〇〇	三、三、五〇〇	三、三、〇〇〇	三、二、八〇〇	三、二、五〇〇	三、二、〇〇〇	三、一、八〇〇	三、一、五〇〇	三、一、〇〇〇	二、九、八〇〇	二、九、五〇〇	二、九、〇〇〇	二、八、八〇〇	二、八、五〇〇	二、八、〇〇〇

種別	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
市																								
實收	一、〇四〇	一、〇八〇	一、一六〇	一、二四〇	一、三二〇	一、四〇〇	一、四八〇	一、五六〇	一、六四〇	一、七二〇	一、八〇〇	一、八八〇	一、九六〇	二、〇四〇	二、一二〇	二、二〇〇	二、二八〇	二、三六〇	二、四四〇	二、五二〇	二、六〇〇	二、六八〇	二、七六〇	二、八四〇
半檀	五〇〇	五四〇	五八〇	六二〇	六六〇	七〇〇	七四〇	七八〇	八二〇	八六〇	九〇〇	九四〇	九八〇	一、〇二〇	一、〇六〇	一、一〇〇	一、一四〇	一、一八〇	一、二二〇	一、二六〇	一、三〇〇	一、三四〇	一、三八〇	一、四二〇
種別	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	
五千人以上ノ町ノ部																								
實收	一、六〇〇	一、六四〇	一、六八〇	一、七二〇	一、七六〇	一、八〇〇	一、八四〇	一、八八〇	一、九二〇	一、九六〇	二、〇〇〇	二、〇四〇	二、〇八〇	二、一二〇	二、一六〇	二、二〇〇	二、二四〇	二、二八〇	二、三二〇	二、三六〇	二、四〇〇	二、四四〇	二、四八〇	
半檀	八〇〇	八四〇	八八〇	九二〇	九六〇	一、〇〇〇	一、〇四〇	一、〇八〇	一、一二〇	一、一六〇	一、二〇〇	一、二四〇	一、二八〇	一、三二〇	一、三六〇	一、四〇〇	一、四四〇	一、四八〇	一、五二〇	一、五六〇	一、六〇〇	一、六四〇	一、六八〇	

種別	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇
山林																							
實收	二、〇〇〇	二、〇五〇	二、一〇〇	二、一五〇	二、二〇〇	二、二五〇	二、三〇〇	二、三五〇	二、四〇〇	二、四五〇	二、五〇〇	二、五五〇	二、六〇〇	二、六五〇	二、七〇〇	二、七五〇	二、八〇〇	二、八五〇	二、九〇〇	二、九五〇	三、〇〇〇	三、〇五〇	三、一〇〇
種別	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二
部																							
實收	一、〇〇〇	一、〇五〇	一、一〇〇	一、一五〇	一、二〇〇	一、二五〇	一、三〇〇	一、三五〇	一、四〇〇	一、四五〇	一、五〇〇	一、五五〇	一、六〇〇	一、六五〇	一、七〇〇	一、七五〇	一、八〇〇	一、八五〇	一、九〇〇	一、九五〇	二、〇〇〇	二、〇五〇	
種別	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇
市																							
實收	一、八四〇	一、八八〇	一、九二〇	一、九六〇	二、〇〇〇	二、〇四〇	二、〇八〇	二、一二〇	二、一六〇	二、二〇〇	二、二四〇	二、二八〇	二、三二〇	二、三六〇	二、四〇〇	二、四四〇	二、四八〇	二、五二〇	二、五六〇	二、六〇〇	二、六四〇	二、六八〇	二、七二〇
種別	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇
部																							
實收	九二〇	九四〇	九六〇	九八〇	一、〇〇〇	一、〇二〇	一、〇四〇	一、〇六〇	一、〇八〇	一、一〇〇	一、一二〇	一、一四〇	一、一六〇	一、一八〇	一、二〇〇	一、二二〇	一、二四〇	一、二六〇	一、二八〇	一、三〇〇	一、三二〇	一、三四〇	一、三六〇

種別	村落部	半檀一戸 實收入
三	一、二六〇	五八〇
三	一、二〇〇	五六〇
三	一、〇八〇	五四〇
三	一、〇四〇	五〇〇
三	一、〇〇〇	五〇〇
六	九六〇	四八〇
七	九二〇	四六〇
六	八八〇	四四〇
元	八四〇	四四〇
三	八〇〇	四〇〇
三	七六〇	三六〇
三	七二〇	三三〇
三	六八〇	三〇〇
三	六四〇	二八〇
五	六〇〇	二六〇
七	五六〇	二四〇
元	五二〇	二二〇
元	四八〇	二〇〇

宗規第十五號

寺格昇降査定條例

第一條 本條例ハ宗制第十一章第九十一條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 本派寺院ノ寺格ハ從前定マル所ニ依ル但シ中本寺以下ノ寺格ハ左ノ標準ニ依ル

- 一、大本山乃至準別格本山ノ末寺ニシテ末寺ヲ有スルモノヲ中本寺トシ末寺ヲ有セサルモノヲ格院トス
- 一、中本寺ノ末寺ニシテ末寺ヲ有スルモノヲ小本寺トシ末寺ヲ有セサルモノヲ孫末寺トス
- 一、小本寺ノ末寺ヲ曾孫末寺トシ曾孫末寺ノ末寺ヲ玄孫末寺トス

第三條 本派寺院ノ寺格昇降ハ其ノ寺院住職及法類總代若クハ檀信徒總代連署ノ上宗務支所長並ニ本寺住職ノ奥印ヲ受ケ其ノ昇級ニ關スルモノハ規定ノ禮録ヲ添ヘテ管長ヘ請願スヘシ但シ宗務支所ノ管轄ニ屬セサル寺院ニ在リテハ支所長ノ奥印ヲ要セス

第四條 左記ノ資格ヲ具備スル寺院ニ限リ之ヲ昇格セシムルコトヲ得

- 一、相當ノ由緒アリ且ツ一ケ年収入額參百圓未滿ノモノハ三等格院又ハ孫末寺ニ
- 一、相當ノ由緒アリ且ツ一ケ年収入額參百圓以上ノモノハ二等格院又ハ小本寺ニ
- 一、相當ノ由緒アリ且ツ一ケ年収入額六百圓以上ノモノハ一等格院又ハ中本寺ニ

第五條 左記ノ資格ヲ具備スル寺院ニ限リ本末協議會ノ協賛ヲ經テ準別格本山以上ニ昇格セシムルコトヲ得

- 一、特ニ由緒アリ且ツ一ケ年収入額參千五百圓以上ノモノハ準別格本山ニ
- 一、特ニ由緒アリ且ツ一ケ年収入額七千圓以上ノモノハ別格本山ニ

第六條 特別ノ由緒アル寺院ハ第四條第五條ノ規定ニ拘ラス管長之ヲ特ニ昇格セシムルコトアルヘシ

第七條 本則施行上必要ノ規定ハ管長之ヲ定ム

宗規第十六號

寺院末寺總代法類總代選定規則

第一條 本則ハ宗制第十一章第九十一條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 末寺總代及法類總代ハ住職ノ任免及寺有財産ノ異動其ノ他特ニ規定シアル事項ニ對シ當該寺院ノ關係者トス

第三條 末寺總代ハ三名以內トシ其ノ末寺ノ互選ヲ以テ定ムルモノトス

第四條 寺院ノ法類トハ同一本寺ヲ有スル寺院及法流上又ハ特殊ノ慣行上從來深厚ノ關係ヲ有スル寺院ヲ言フ

第五條 法類總代ハ二名以上トシ前條法類住職ノ互選ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

第六條 前條互選資格ヲ有スル法類ハ當該寺院ヨリ豫メ宗務所及同支所ヘ届ケ置クヘキモノトス

第七條 末寺總代及法類總代ハ滿五ケ年毎ニ改選シ宗務所及同支所ニ届出ツヘキモノトス

改選ノ際再選スルモ妨ケナシ

期間中死亡其ノ他ノ事故ニ依リ異動ヲ生シタル時ハ其ノ都度届出ツヘシ

第八條 末寺總代法類總代ノ選定ハ當該寺院住職管理ス

第九條 本則施行ニ關シ必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

第十條 眞言宗各派中他派寺院ニシテ本派寺院ニ縁故關係ヲ有スルモノハ相互間ニ法類タルコトヲ得ルモノトス

八四

宗規第十七號

色衣被着條例

- 第一條 本條例ハ宗制第八章第六十八條ニ依リ之ヲ定ム
- 第二條 本派僧侶ハ管長ノ允可ヲ受ケ本宗制第八章第六十五條ノ規定ニ從ヒ教師等級ニ相當スル色衣ヲ被着スルコトヲ得
- 第三條 法衣規定アル學校在學ノ本派僧侶ハ其ノ學校ノ規定ニ依ルコトヲ得
- 第四條 教師等級ニ依リ色衣被着ノ允可ヲ得タル者ニシテ降級若クハ罷免若クハ黜免セラレタル時ハ允可ノ効力ヲ失フ
- 第五條 本條例施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第十八號

托鉢免許規則

- 第一條 托鉢免許證ノ下附ヲ出願セントスル者ハ明治十四年八月十五日內務省成第二號達ヲ遵守シ末項ノ書式ニ依リ禮録金ヲ添ヘ差出スヘシ
- 第二條 免許證ノ下附ハ教師ニシテ求寂戒又ハ具足戒ヲ受ケタル者ニ非サレハ出願スルコトヲ得ス
- 第三條 免許證ヲ下附セラレタル時ハ本人ヨリ各自所在ノ地方廳(東京ハ府廳警視廳)ヘ届出ツヘシ
- 第四條 托鉢ヲ行スルニハ如法割截衣ヲ被着シ應量器及錫杖ヲ持シ默念除歩シ信施ヲ受ケタル時ハ異口同音ニ廻向文ヲ誦スヘシ
- 第五條 錫杖ハ先導者一人之ヲ持シ他ハ總テ鉢ヲ持スルモノトス
- 第六條 行列ハ老若ノ順序ヲ守リ威儀ヲ紊スヘカラス
- 第六條 市街雜踏ノ地ニ行乞シ商賈ニ立入り物品ヲ購求スヘカラス

八五

第七條 免許證ハ常ニ護持シ他ニ貸與スヘカラス

第八條 免許證ヲ遺失セシトキハ速ニ其ノ旨届出ツヘシ再下附ヲ乞フ者ハ手數料金壹圓ヲ添ヘ出願スヘシ

第九條 本規則ノ規定並ニ内務省達ニ違背セル行爲アリト認ムルトキハ直ニ免許證ヲ返上セシムルモノトス

第十條 托鉢免許證授與願及免許證雛形ハ左ノ如シ

托鉢免許證授與願

真言宗山階派

何_府何_郡何_町何_村何_寺 住職又ハ徒弟

何_府何_郡何_町何_村 番地 族籍

何_府何_郡何_町何_村 職 姓名

生年月日

受戒 何年月日何_府何_郡何_町何_村何_院何和尚ニ求寂戒又ハ具足戒

教師 何年月日 現級何々

右ノ通り受戒並ニ教師拜命事實相違無之且ツ内務省御達ノ趣意ハ勿論本派ノ條規ハ屹度確守可仕候條免許證御授與被成下度禮録相添ヘ上願候也

年 月 日

右 職 姓名 名印

管長 宛

前書ノ通り事實相違無之候條進達候也

何_府宗務支所 支所長又ハ管理職姓名印

宗務支所ノ管轄ヲ受ケサルモノハ右奥印ヲ要セス

(木製 縦六寸 横二寸)

表

第 號

托鉢免許之證

管長印

裏

何府何市何町何寺
何縣何郡何村何院住職何某又徒弟何某

職

姓

名

年月日

生年月日

宗規第十九號

宗務支所規定

- 第一條 本則ハ宗制第三章第二十八條ニ依リ之ヲ定ム
- 第二條 宗務支所ノ役員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニ依リ選出ス但シ本則施行後新ニ役員選舉ヲスルニ至ルマテハ管長ノ特任セル支所長支所事務ヲ掌ルモノトス
- 第三條 宗務支所ノ規約及毎年度ノ歳入歳出豫算ハ管長ノ認可ヲ得サレハ施行スルコトヲ得ス改正變更ノ時モ亦同シ
- 第四條 宗務支所ノ經費ハ其金額支所下寺院ノ負擔セル宗費ノ四分ノ一ヲ超過スルコ

トヲ得ス但シ特別ノ事情アリテ管長ノ認可ヲ得タルモノハ此ノ限リニアラス

- 第五條 宗務支所ハ管内寺院ノ諸願書伺書届書ヲ進達スルニ就テ禮録又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得ス

- 第六條 宗務支所ノ名稱及其ノ管轄寺院區域ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、和歌山支所 和歌山縣

- 第七條 第六條ニ定ムル支所管轄以外ノ本派寺院ハ宗務所ノ直轄トス

- 第八條 本則施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第二十號

宗務支所役員代議員選舉規則

- 第一條 本則ハ宗制第三章第二十八條ニ依リ之ヲ定ム

- 第二條 支所長、管理、副管理代議員ノ選舉人並被選舉人ハ當該支所下一般寺院正住職トス

- 第三條 支所長管理副管理代議員ノ選舉事務ハ當該支所ニ於テ之ヲ行ヒ支所長ヲ以テ

選舉長トシ其ノ選被選資格及選舉方法ニ關シテハ本規則ニ定ムルモノ、外本末協議員選舉規則ヲ準用ス但シ本則施行ノ最初ニ於テ選舉事務ヲ取扱フ選舉長ハ管長ノ特任セラル支所長ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 支所長管理ハ代議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第五條 本則ニ依リ選舉セラレタル宗務支所役員代議員ノ任期ハ總テ滿三ヶ年トス補欠就任ノ者ハ前任者ノ殘任期トシ又滿期後ト雖モ後任者就職ニ至ル迄ハ在職スルモノトス

第六條 本則施行上必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

宗規第二十一號

大本山勸修寺寺法

第一條 本法ハ宗制第十一章第八十二條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 大本山勸修寺住職ハ山階派管長ヲ以テ之ニ充ツ但シ管長欠員ノ時ハ山階派管長事務取扱ヲ以テ勸修寺住職事務取扱ニ充ツ

第三條 勸修寺住職ハ古來ノ芳躅ヲ表彰センカ爲メ勸修寺門跡ト稱ス

第四條 門跡ハ小野ノ正傳勸修寺ノ秘義ニ依リ寶祚長久鎮護國家ノ祈願ヲ始メ恒例ノ法會ヲ勤修ス

第五條 門跡ハ末寺住職ニ法流ヲ印可ス

第六條 門跡ハ大本山ニ關スル一切ノ事務ヲ總攬ス

第七條 門跡ハ大本山ノ事務ニ關シ必要ナル告示諭達ヲ發ス

第八條 大本山ニ事務所ヲ置キ諸般ノ事務ヲ處理スル所トシ庶務課會計課ノ二課ヲ設ク

第九條 大本山ニ事務長一名執事二名書記若干名雇員若干名ヲ置キ前條ノ寺務ヲ執掌セシム

事務長ハ本派宗務長ヲ以テ執事一名ハ宗務所執行ヲ以テ之ニ充テ他ノ執事一名ハ事務長ノ推薦ニヨリ門跡之ヲ任命シ書記及雇員ハ宗務所録事並雇員ヲ以テ之ニ充ツ

第十條 大本山ノ歳入歳出ハ豫算ヲ以テ之ヲ定メ本末協議會ノ協賛ヲ經ヘキモノトス

第十一條 宗務所ヨリ交付金ヲ以テ歳入トシ大本山ニ關スル經費ヲ以テ歳出トス

第十二條 會計年度ハ四月一日ヨリ起リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第十三條 歳入歳出ノ決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ編成シ本末協議會ノ承認ヲ經ヘキ
モノトス

第十四條 會計ニ關シテハ前諸條ノ外會計條例ヲ準用ス

第十五條 本法規定ノ外從來ノ慣例ハ之ヲ襲踏ス

第十六條 本法施行ニ關シ必要ノ規則ハ管長之ヲ定ム

諸願伺届書式

諸願何屆書式目次

添書下附願	二
度牒授與願	三
度牒證明書下附願	五
改名願	六
改名屆	七
師僧替願	八
特別教師試補具狀	九
僧階昇補具狀	二二
宗祖廟前參籠願	二四

住職晉住願	二五
住職辭職願	二八
印鑑届	一九
法類届	二〇
法類總代(末寺總代)届	二三
檀徒(信徒)總代改選届	二三
褒賞授與願	二六
懲誠具狀	二七

諸願伺届書式

注意

- 一、諸願伺届書類ハ半紙トス
 - 一、諸願書ハ總ヘテ壹通トス但シ支所ノ控ヘハ別トス
 - 一、總ヘテノ諸願伺届書類ハ支所下寺院ハ支所ヲ經由スヘシ直轄寺院ハ宗務所ニ直接提出ス
 - 一、支所下寺院ノ願書ハ支所長ノ奥書進達ヲ要ス
 - 一、諸官廳ヘ差出ス諸願書ニハ管長ノ添書副伸ヲ要ス
 - 一、添書下附出願ノ際ハ必ス本願書ヲ添付シ禮録金壹圓ヲ要ス
 - 一、地方廳關係ノ諸願書取扱ニツキテハ府縣ニヨリ相違スル點多ク其關係地方廳ノ規定ヲ聞キ合セ願書ヲ作製スヘシ
 - 一、諸官廳ニ出願スル諸願ニハ本寺法類連署管長ノ添書ヲ要ス
- 祠宇并寺院創立再興復舊引直移轉廢合及附屬ノ地所建物什物抵當賣買其他寶物古文

書等財産ニ關スル諸願ハ寺院法類連署管長ノ添書ヲ要スヘシ

(明治十七年十月三十日内務省達乙第三十七號)

- 一、管長ノ副仲ヲ得タル諸願書ハ官廳ノ許否ヲ必ス届出テ且ツ願意決行ノ上モ其旨届出スヘシ此ノ用紙ハ本所ヨリ交付ス
- 一、諸願届出書式ノ備考ヲ参照スルヲ要ス
- 一、諸願書提出スル際ハ當該寺院ノ宗費ヲ必ス完納スヘシ

◎添書下附願

何支所

何府何市何町何寺院
何縣何郡何村

今般別紙ノ通り出願仕度候條添書御下附被下度此段上願候也

年 月 日

右寺住職 何 某 印

真言宗山階派管長大僧正何某殿

◎度牒授與願

何支所下

何府何市何町何寺院住職何某徒弟
何縣何郡何村

僧名 何々(尼)

姓 名(俗名)

- 一、出生 何年何月何日
 - 一、現籍 何府何市何町何番地族稱(士族平民)戸主何某何男又ハ何何
 - 一、得度 何年何月何日何府何市何町何寺院道場ニ於テ戒師何誰ニ從ヒ剃髮
 - 一、學業 何年何月何日何學校修業又ハ卒業並ニ經典修得
- 右之通り相違無之候條度牒授與被成下度誓約書相添上願候也

年 月 日

右師僧 姓 名 印

右戒師

住所何寺院住職

僧階 氏 名 印

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

△誓 約 書

拙僧儀度牒授與相成候上ハ誓ツテ佛祖ノ遺誠ヲ奉體シ制規ノ學階ヲ實踐シ教義宣布ノ任ヲ全ウセンコトヲ期シ決シテ怠罷仕間敷依テ保證人連署ヲ以テ誓約書差上候也

年 月 日

右本人 姓 名(俗名)印

右父兄

保證人 姓 名 印

右師僧

同上 姓 名 印

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

一、戸籍謄本ヲ添付スルヲ要ス

一、姓名僧名ニハ振假名ヲ附スヘシ

一、本人ノ父兄ナキモノハ親族ノ連署ヲ要ス

◎度牒證明書下附願

何支所下

何_府何_市何_町何_寺住職何某徒弟

僧名何々

姓 名(俗名)

一、出生 何年何月何日

一、本籍 何_府何_市何_町何_村何字何番地何某何男又ハ何々

一、度牒 何年何月何日

右者其筋へ改名出願致度牒證明書御下附被成下度此段奉願候也

年 月 日

右本人 姓 名 印

右師僧 姓 名 印

右戸主 姓 名 ⑥

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

- 一、改名願ヲ添付シタルトキハ出生、本籍度牒ヲ記載スル要ナシ
- 一、改名願書式ハ別ニ例記ス

◎改名願

何支所下

何府何市何町何番地平民何某何男

僧名(朱書) 俗 名

生年月日

私儀僧侶ト相成別紙證明書ノ通り真言宗山階派管長ヨリ度牒拜受致候ニ付爾今僧名公稱致度候條御許可被成下度此段上願候也

年 月 日

右本人 姓 名 ⑥
 右戸主 姓 名 ⑥
 右師僧 姓 名 ⑥

市町村長宛 備考

地方ニヨリテハ知事宛ニ提出スルアリ又ハ度牒寫シ添付ニテ受理セラル、アリ一様ナラス

◎改名届

何支所下

何府何市何町何寺住職徒弟

姓 名(僧名)

私儀何年何月何日附ヲ以テ改名許可相成候條此段及御届候也

年 月 日

右本人 姓 名 ⑥

真言宗山階派宗務所御中

備考

- 一、官廳ノ認可セラレシ年月日ヲ記載スルコト
- 一、認可書寫ヲ添付スルモ可ナリ

右師僧

姓

名

印

八

●師僧替願

何支所下

何府何郡何町何村何宗何院住職何某徒弟

姓

名

私儀今回何々(師僧替ノ理由)ニ依リ何府何郡何町何村何院住職何某ニ師僧替仕度候條御許可被成下度新舊兩師僧連署ヲ以テ此段上願候也

年 月 日

右本人

姓

名

印

右舊師僧

姓

名

印

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

- 一、徒弟ニシテ師僧死亡ノ場合ハ必ス新師僧ヲ設ケ出願ノコト
- 一、真言宗各派ヨリ轉入師僧替ノモノハ詳細ナル履歷書ヲ添付スヘシ元所屬宗派ヘ支悟照會ノ上處理スルモノトス

右新師僧

姓

名

印

●特別教師試補具狀

何支所下

何府何郡何町何村何院住職何某徒弟

姓

名

右者宗規第五號第四條ニ依リ御試験ノ上教師試補御申付相成度本人履歷并ニ禮錄相添ヘ此段具狀候也

追テ教師相當色衣被着ノ義同時ニ御允許被成下度禮錄相添ヘ具狀仕候也

年 月 日

何支所

支所長

職

姓

名

⑩

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

履歷添付ヲ要ス

△履 歷 書

肩書(同上)

- 一、出生 何年何月何日
- 一、現籍 何府何市何町何大字何番地華士平民戸主何某何男
- 一、得度 何府何市何町何寺院道場ニ於テ戒師何師ニツキ剃髮
- 一、度牒 何年何月何日拜命
- 一、改名 何年何月何日何市町村長認可

- 一、加行 何府何市何町何寺院道場ニ於テ阿闍梨何師ニツキ何年何月何日開白何年何月何日結願
- 一、灌頂 何府何市何町何寺院道場ニ於テ阿闍梨何師ニツキ修了
- 一、學業 何年何月何日何學校卒業(修了)
- 一、賞罰 有無ヲ詳細ニ記載ス

以上

右之通り相違無之候也

年 月 日

右本人

姓

名

⑩

右師僧

姓

名

⑩

備考

- 一、本願書并履歷書ハ各一通宛ノコト
- 一、本願書ハ本人又ハ師僧ヨリ支所長ニ申請シ支所長ハ管長宛具狀ス支所所屬以外ノ者ハ直接宗務所ヘ具狀ス
- 一、特別試補ヲ出願セントスルモノハ滿二十二歳以上ニシテ度牒授與後滿三箇年ヲ經タルモノタルヲ要ス

- 一、別ニ定ムル特別檢定試驗規則ニ依リ試驗ヲ受クルコトヲ要ス
- 一、特別試補檢定試驗科目ハ試驗委員ニ於テ其都度定ムヘキ儀ナルモ大體左ノ方針ニ依リテ行フモノトス

- 一、特別試驗補任願書ヲ受理シタルトキハ普通學ハ國語、漢文、地理、歴史、作文等ノ科目ニ付豫メ問題ヲ課シ本人受領後一週間以内ニ文書ヲ以テ其答案ヲ提出セシメ試験委員ニ於テ審査ノ上之ニ合格シタル者ハ更ニ本所ヨリ日時ヲ定メ當所出頭ヲ命シ左ノ口答試験ヲ行フモノトス

一、密宗安心教示章ノ説明解釋

一、三和讃ノ誦讀及説明解釋

一、聲明(前後讚、散華、對揚等ノ普通法式ニ用ユルモノ)

●僧階昇補具狀

何支所下

何府何市何町何寺住職又ハ徒弟

僧階 何々(朱書)

僧階 姓 名

右者何々(昇補ノ理由)ニ付朱書ノ級へ昇補被成下度本人履歷并ニ禮錄相添へ此段具狀候也

追テ教師相當色衣被着儀同時ニ御允許被成下度禮錄相添へ具狀仕候也

年 月 日

何支所長 姓 名 (印)

眞言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

一、履歷書ヲ添付ス

出生、原籍、現級、任職、學業、現級拜命以後ノ事績、賞罰

一、具狀ノ手續ハ教師試補具狀ノ場合ト同シ

但シ京都専門學校東寺中學卒業者及修了者ハ當該學校長ヨリ具狀スルモノトス

一、中僧都ノ補任ヲ出願セントスルモノハ別記參籠規定ニ依リ金剛峯寺座主ノ參籠證ヲ得タル上履歷書中ニ其年月日記入ヲ要ス

一、履歷書ノ保證人ハ徒弟ナルトキハ師僧ノ連署ヲ要シ寺院住職ノモノハ法類ノ連署ヲ要ス

◎宗祖御廟前參籠願

何支所下

何府何市何町何村真言宗山階派何寺住職(又ハ徒弟)

僧階 姓 名

拙僧儀宗祖御廟前參籠仕度候ニ付キ宜ク御指揮被成下度履歷書及拜具料相添へ此段上願候也

年 月 日

右本人 姓 名 印

總本山金剛峯寺座主

大僧正 何 某 殿

備考

一、履歷書一通添付スルコト

一、未教師ノモノハ師僧ノ連署ヲ要ス

◎住職晋住願(兼務住職又ハ副住職)

何支所下

何府何市何町何村大字

等級

何寺院

辭職人

姓 名

何府何市何町何村何寺院住職(徒弟)

晋住人

僧階 姓 名

右寺儀住職(轉住死亡等ノ辭任ノ理由)ニ付前記ノ通り關係人協議相調ヒ候條御任免被成下度本人履歷并ニ誓約證相添へ此段上願候也

年 月 日

右寺住職(兼務住職)

姓 名 印

右寺檀徒(信徒)總代

一六

姓

名

印

姓

名

印

姓

名

印

右寺法類(末寺)總代
何寺院住職

姓

名

印

同上

姓

名

印

右寺末寺

何寺院住職

姓

名

印

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

△誓 約 書

拙僧儀何寺院住職(又ハ兼務住職)御任命ヲ蒙リ候上ハ宗制宗規ヲ確守スルハ勿論特ニ
宗家ニ對スル義務ハ必ス相果シ申スヘク萬一違背有之候節ハ直ニ住職罷免仰付候共決
シテ異議申間敷依テ誓約書差入候也

年 月 日

右本人 姓

名

印

右師僧(又ハ法類)

姓

名

印

保證人

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

- 一、晋住人履歷書添付スヘシ
- 一、住職願ニハ其寺關係人及本寺ノ連署又ハ副申ヲ要ス
- 一、晋住人徒弟ナルトキ又ハ他派ヨリ晋住ノトキハ印鑑届ヲ要ス

- 一、住職死亡ノ場合ハ死亡届ノ提出ヲ要ス
- 一、無住寺院ニアリテ關係人新舊不突合ノ場合ハ檀信徒總代ハ町村長ノ證明書ヲ添付シ法類總代缺員ノトキハ法類全部調印ノコト
- 一、寺院住職轉任又ハ辭任ノ場合ハ其寺後任者推舉シテ出願スヘシモシハ兼務寺アルモノハ同時ニ其寺ノ後任者ヲ選定シ出願スヘシ
- 但シ特別ノ事情アルモノニ限り後任選定ニ至ラサルモ辭職願提出ノトキハ轉任又ハ辭職ヲ聽許スルコトアルヘシ

◎住職辭職願

何支所下

何府何市何町
何縣何郡何村

等級 何 寺院

右寺拙僧住職(兼務住職)罷在候處何々ノ事由ニ付住職(兼務住職)御罷免被成下度後任住職ハ三ヶ月間内ニ必ス申請可致關係人連署ヲ以テ此段上願候也

年 月 日

右寺住職檀信徒總代法類總代本寺連署

真言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

◎印鑑届

印鑑	何府何市何町何番地
捺印	何縣何郡何村何番地
	姓
	年 月 日 生 名

(町村長ノ證明セル印鑑用紙添付ス)

右拙者印鑑ニ有之候間此段及御届候也

年 月 日

何支所下

何府何市何町何寺院何職(徒弟)

姓 名 印

眞言宗山階派宗務所御中

備考

- 一、徒弟或ハ他派ノ僧侶ニシテ本派寺院ニ始メテ住職セントスルモノハ住職願書ト共ニ必ス印鑑届出ヲ要ス
- 但シ町村長ノ證明ヲ經テ宗務支所經由提出スルモノトス
- 一、未定年ニシテ町村長ノ證明ヲ得ラレサルモノハ宗務支所長ノ證明ヲ得テ提出スヘシ
- 一、印章ヲ紛失毀損又ハ其他ノ事故ニヨリ改印シタル場合ハ本屆書ニ準シ改印ヲ届出スヘシ

◎法 類 届

何支所下

何府何市何町何寺院
何縣何郡何村何院

右法類

何府何市何町何寺院住職

同 上 姓 姓 名
同 上 姓 姓 名

右拙寺法類ト相定候條此段御届申上候
年 月 日

右寺住職 姓 名 印
右寺法類 姓 名 印
同 姓 名 印
同 姓 名 印

眞言宗山階派宗務所御中

備考

- 一、現住職人體關係ノ法類ハ其旨明示スルコト
- 一、法類ノ追加ハ法類多數ノ賛同ヲ經住職現任法類總代追加法類連署ノ上届出スヘシ

- 一、法類削除ハ法類總代ノ決議ヲ經其事由ヲ具シ住職法類總代連署シ届出スヘシ
- 一、法類ノ加除ニ對シ異議アル者ハ宗務所ニ申請スル事ヲ得
- 一、宗務所ニ受理シタルトキハ其年月日ヲ支所ニ通告ス

●法類總代(末寺總代)届

何支所下

何府何市何町何寺院
何縣何郡何村

右法類總代

何府何市何町何寺院住職
何縣何郡何村

同上

姓 名 姓 名

右拙寺法類(末寺)總代滿期(又ハ辭職)ニ付改選候處前記ノ者當選候此段御届仕候也

年 月 日

右寺住職

姓 名 印

右當選者

姓 名 印

姓 名 印

立會人代表者

法 類 姓 名 印

備考

- 一、任期中改選シタル場合ハ現任法類總代連署スルコト
- 一、補缺當選者届出ノ場合ハ住職現任總代當選者立會人代表者連署スルコト
- 一、宗務所ニ受理シタルトキハ其年月日ヲ支所ニ通告ス

●檀徒(信徒)總代改選届

何支所下

何府何市何町何寺院
何縣何郡何村

何府何市何町
何縣何郡何村

檀徒(信徒)總代

姓 名

同上

姓 名

同上

姓 名

同上

姓 名

同 姓 名

右寺檀徒(信徒)總代滿期(又ハ辭職ナレハ理由ヲ記シ)ニ付改選候處前記ノ者當選仕何年何月何日付本町(村)長ニ届出受理相成候條此段御届候也

右寺 住 職	姓	名	印
右新任檀徒(信徒)總代	姓	名	印
右寺舊檀徒(信徒)總代	姓	名	印
	姓	名	印
	姓	名	印
	姓	名	印

備考

- 一、當選者届書ハ先ツ町村役場へ差出シ受理セラレタル上當所ニ差出ス、シ
- 一、檀信徒總代人死亡其他缺員ヲ生シタルトキハ速ニ補缺選出スヘシ
- 一、總代人ニ關スル法令規定左記參照
- (イ) 社寺總代之儀氏子檀家中(氏子檀家ナキモノハ信徒)相應ノ財産ヲ有シ衆

望ノ歸スルモノ三名以上相選シ(戸長役場)へ届出サセ今後該社寺ノ願届等ハ渾テ連署ヲ以可爲差出(中略)總代人ハ滿三年毎ニ改選市町村役場若ハ(戸長役場)へ届出シムヘシ

尤モ期限中ト雖モ犯罪其他不良ノ所爲アルトキハ臨時改選セシムヘシ

(明治十四年七月二十一日内務省達乙第三三號)

- (ロ) (上略)總代人選舉ノ届ニハ別段届出ノ式ヲ定メサルカ如クナレトモ該選舉届モ社寺ノ届ニ屬スルヲ以テ無論神官若クハ住職ト現任ノ總代人ト連署シ届出シム(下略)

(明治二十四年十二月十日内務書記官通牒管甲第三一號)

- (ハ) (上略)一旦當選ヲ届出タル總代人ハ其當選ヲ届出タル日ヨリ起算シ滿三年毎ニ改選セシムヘキハ勿論ナリト雖モ後任者ノ當選届出ヲ爲サ、ル間ハ其ノ三ヶ年ヲ經過セルノ故ヲ以テ當然總代人タル資格ヲ失ヒタルモノトナスヲ得ス

(明治三十八年十月二日宗教神社局通牒宗甲第二一號)

- (ニ) (上略)社寺總代人ハ其社寺ノ願届等ニ連署シ神官住職ト常ニ心ヲ協セ該

社寺ノ永續保護ニ盡カスヘキハ勿論ナレトモ社寺ノ實務ハ神官住職ノ職任ナルニ依リ總代人ハ神官住職ニ干涉シ社寺ノ實務ヲ妨ケ社寺收入財産ヲ妄リニ他ニ使用スル等ノ所爲アラシムヘカラス

(明治二十四年十二月十一日内務省訓令第一〇六三號)

(ホ) (上略)檀家總代ニ寺ノ收入財産ヲ管理セシムル儀不相成(下略)

(明治三十五年十二月一日宗教局電報回答)

賞 罰

◎褒賞授與願

何支所下

何府何市何町何村何院住職(又ハ徒弟、檀信徒)

姓

名

一、功績事實 詳細記載ノコト

一、證 據 別紙寄附證寫若クハ調書又ハ何々

右ハ宗規褒賞規則第何條第何項ニ該當スルモノト相認メ候條御詮議ノ上相當褒賞被成下度此段具狀候也

年 月 日

何支所々長 姓 名 印

眞言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

一、僧侶ノ褒賞ハ支所長ヨリ具狀シ檀信徒ノ表彰ハ當該寺院住職ヨリ本書式ニ準

シ出願スルモノトス

一、出願ノ際褒賞規則ヲ參照シ希望ノ種目ヲ舉ケ具狀ス

一、授與スヘキ物品ハ品目ニ依リ實費ヲ納付セシムルコトアルヘシ

但檀信徒表彰ニ關シ授與スヘキ物品ハ實費ヲ要ス

◎懲 誠 具 狀

何支所下

何府何市何町何寺院住職(又ハ徒弟)

姓 名

一、所犯事實 詳細明記スルコト

一、證 據 別紙調書又何々

右ハ宗規懲戒規則第何條第何項ニ該當スルモノト相認候條御詮議ノ上相當御處分相成度此段具狀候也

年 月 日

右支所長 姓 名 印

眞言宗山階派管長

大僧正 何 某 殿

備考

一、被處分者ノ關係者(法類總代、檀信徒總代、本寺)及支所長ノ意見書ヲ附スル事

昭和十二年五月廿五日印刷
昭和十二年五月三十日發行

(定價 一 圓)

不 許
複 製

山階派宗務所

發行者 佐 竹 信 光

京都市下京區猪熊通梅小路上ル

印刷者 堤 淨 祐

京都市下京區猪熊通梅小路上ル

印刷所 株式會社文化時報社印刷部

京都市東山區山科勸修寺仁王堂町一番地

發行所

眞言宗山階派宗務所

電話上①一三〇一
振替京都七二五一番

375
160

終

